

Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 ユーザーズ ガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: はじめに	6
Dell Server Management Pack Suite の新機能	6
Dell Server Management Pack Suite の主要機能	7
Dell Server Management Pack Suite	8
拡張可能エディションと詳細エディションの機能比較	10
章 2: Dell Server Management Pack の機能性概要	11
章 3: 検出とグループ化	12
サーバー（帯域内）監視機能を使用した Dell サーバーの検出	13
サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell サーバーの検出	13
シンプル認証 Run As アカウントの作成	14
サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け	15
シャーシデバイスの検出	15
DRAC デバイスの検出	16
OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨	16
Dell Server Management Pack Suite による検出	16
Dell サーバー（帯域内）監視機能による検出	16
Dell サーバー（帯域外）監視機能による検出	17
DRAC 監視機能による検出	17
Dell シャーシ監視機能による検出	18
シャーシブレード関連機能による検出	18
Dell Feature Management Pack による検出	19
オブジェクト検出のカスタマイズ	19
章 4: 監視	20
重要度レベルのインジケータ	20
ビュー	21
アラートビュー	21
ダイアグラムビュー	22
状態ビュー	26
パフォーマンスおよび電源監視ビュー	26
ユニット監視	27
サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション	27
サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 詳細エディション	29
サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視	31
シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視	34
DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視	34
ルール	35
Dell システムイベント処理のルール	35
サーバーシステム管理者	35
ストレージ管理	35
DRAC およびシャーシデバイス	35
Dell サーバー	36

パフォーマンスコレクションルール.....	36
章 5: タスク.....	38
タスクサマリ.....	38
Dell サーバー（帯域内）を使用した Dell タスクの実行.....	38
Dell サーバー（帯域外）を使用した Dell タスクの実行.....	39
DRAC を使用した Dell タスクの実行.....	40
Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行.....	41
機能管理タスク.....	41
Dell モジュラーとモノリシックシステムのタスク（帯域内）.....	43
ESM ログのクリア.....	43
Dell OpenManage Server Administrator の起動.....	43
Remote Desktop の起動.....	44
帯域内 Dell Remote Access Console の起動.....	44
電源ステータスのチェック.....	44
パワーサイクル.....	44
強制電源オフ.....	45
正常電源オフ.....	45
電源オン.....	45
電源リセット.....	46
LED 識別表示オン.....	46
LED 識別表示オフ.....	46
保証情報の取得.....	47
Dell OpenManage Power Center の起動.....	47
32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動.....	47
64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動.....	47
Dell モジュラーとモノリシックシステムタスク（帯域外）.....	48
保証情報の取得.....	48
Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動.....	48
Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動.....	48
Dell OpenManage Power Center の起動.....	49
Dell Remote Access Console の起動.....	49
Dell License Manager の起動.....	49
Dell Remote Access Controller（DRAC）タスク.....	50
Dell Remote Access Console の起動.....	50
Dell License Manager の起動.....	50
Dell OpenManage Server Administrator の起動.....	50
Remote Desktop の起動.....	51
Dell シャーシタスク.....	51
Dell CMC Console の起動.....	51
Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動.....	51
Dell Connections License Manager URL の設定.....	52
章 6: レポート.....	53
レポートへのアクセス.....	53
OpenManage Windows イベントログレポートの生成.....	53
Operations Manager での BIOS 設定レポートの生成.....	54
ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成.....	54
RAID 設定レポートの生成.....	54

章 7: 関連文書およびリソース.....	56
Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン	56
その他の必要マニュアル.....	56
デルサポートサイトからの文書へのアクセス.....	56
デルへのお問い合わせ.....	57
 章 8: 付録 A - 問題とその解決.....	 58
問題と解決策.....	58
既知の制限	63
機能管理アラート.....	63
 章 9: 付録 B - 外部プログラムの有効化タスク.....	 65
アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成.....	65
License Manager 起動タスクの作成.....	66

はじめに

この文書では、Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2、および Microsoft System Center Essentials (SCE) 2010 での Dell Server Management Pack Suite version 5.1 で実行できるアクティビティが説明されています。

Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 を System Center 2012 R 2 Operations Manager、System Center 2012 SP 1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R 2、または System Center Essentials 2010 の環境と統合すると、お使いの Dell デバイスの管理、監視、および可用性が実現されます。

注意: データの破壊および / または損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows オペレーティングシステムと System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R2、および System Center Essentials 2010 の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。**

- メモ:** 既知の問題についての情報に加え、ソフトウェアおよび管理サーバー要件の最新情報が記載されている Dell Server Management Pack Suite の readme ファイルをお読みください。この readme ファイルは、dell.com/support/manuals の Systems Management マニュアルのページに掲載されており、自己解凍型実行可能ファイル `Dell_Server_Management_Pack_Suite_v5.1_A00.exe` にも含まれています。
- メモ:** 本書中の OpsMgr という用語は 特に別の定めがなければ、System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP 1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R 2、および System Center Essentials 2010 を参照するために用いられます。
- メモ:** 特に指定のない限り、本書における OpsMgr 2012 という用語が、System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、および System Center 2012 Operations Manager を指しています。
- メモ:** 特に指定のない限り、本書における Dell Remote Access Controller (DRAC) デバイスという用語は、DRAC 5、DRAC 6、および iDRAC 7 を意味します。
- メモ:** 特に指定のない限り、本書におけるシャーシデバイスという用語は、Dell Remote Access Controller/Modular Chassis (DRAC/MC)、Chassis Management Controller (CMC)、および Dell PowerEdge VRTX を意味します。
- メモ:** 本書には、Dell Server Management Pack Suite version 5.1 のインストールに必要な前提条件およびサポートされているソフトウェアについての情報が掲載されています。Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 の本バージョンを、そのリリース日から長期間経過した後でインストールする場合は、dell.com/support/manuals で本書のアップデートバージョンの有無をチェックしてください。マニュアルへのアクセスについては、「[デルサポートサイトからの文書へのアクセス](#)」を参照してください。

トピック :

- [Dell Server Management Pack Suite の新機能](#)
- [Dell Server Management Pack Suite の主要機能](#)
- [Dell Server Management Pack Suite](#)

Dell Server Management Pack Suite の新機能

- Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager および Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager のサポート。
- Dell PowerEdge VRTX CMC の監視
- サーバーノードの帯域内および帯域外監視
- Dell PowerEdge M1000e および Dell PowerEdge VRTX シャーシのシャーシビュー (アラート、ダイアグラム、状態の各ビュー)
- Dell OpenManage Server Administrator の EEMI イベントモードのサポート
- 管理サーバーオペレーティングシステムとしての Windows Server 2012 R2 のサポート。
- iDRAC7 の最新ファームウェア、および CMC のサポート
- iDRAC7、CMC、および Dell OpenManage Server Administrator からの新しいアラートのサポート

Dell Server Management Pack Suite の主要機能

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite は、Windows オペレーティングシステム、および帯域外 Dell デバイスを実行する Dell サーバーを管理するため、以下の機能を提供します。

表 1. 機能と機能性

機能	機能性
帯域内検出と監視 - Dell サーバー	対応 Windows オペレーティングシステムおよび Server Administrator を実行している Dell PowerEdge および PowerVault モノリシックシステムとモジュラーシステムの帯域内検出と監視をサポートします。
サーバーの帯域外検出と監視	次をサポートします。 • Dell PowerEdge 第 12 世代システムの帯域外検出と監視。 • 帯域外システムの SNMP トラップ。
検出と監視 - シャーシ管理	次をサポートします。 • Dell CMC および DRAC/MC デバイスの検出と監視。 • CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールとシャーシスロットサマリの検出のサポート。 • CMC および DRAC/MC デバイスの SNMP トラップ。
検出と監視 - Dell Remote Access Controllers (DRAC)	次をサポートします。 • 対応 DRAC デバイスの検出と監視。 • DRAC デバイスの SNMP および PET。
シャーシブレード相関	Dell サーバー CMC サーバーモジュールおよび DRAC/MC シャーシとの相関をサポートします。
iDRAC vFlash カードの検出と監視	iDRAC vFlash カードおよび iDRAC ネットワークインタフェースの帯域内検出および監視をサポートします。
イベント監視	次をサポートします。 • OpenManage Server Administrator バージョン 6.4~7.3 からのイベント • DRAC デバイスのプラットフォームイベントトラップ(PET) • DRAC デバイスからの SNMP トラップ • シャーシデバイスからの SNMP トラップ
サーバーネットワークインタフェースカードの検出と監視	次をサポートします。 • Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカード (NIC)の物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースの帯域内検出と監視。 • Server Administrator バージョン 6.4~7.3 を実行しているシステム上の NIC のエンリッチプロパティおよび属性の表示。 • [ネットワークインタフェースアラート] ビューでのリンクアップおよびリンクダウンアラート。 • [Dell モジュラーシステム] および [Dell モノリシックシステム] ダイアグラムビューにおける Server Administrator バージョン 6.4~7.3 の物理ネットワークインタフェースとチーミングされたネットワークインタフェースの相関。
パフォーマンスの監視	次をサポートします。 • [パフォーマンス] ビューと [電源監視] ビューを使用した電源および温度統計。 • 物理ネットワークインタフェースおよびチーミングされたネットワークインタフェースのパフォーマンスグラフ。

表 1. 機能と機能性（続き）

機能	機能性
フレキシブル監視	次をサポートします。 • 拡張性要件に基いた Dell サーバーの監視レベル(拡張可能 / 詳細) の選択における柔軟性。 • Server Administrator を使用した、情報警告の有効化による詳細監視。
タスクの起動	以下を起動します。 • [Dell OpenManage Server Administrator] コンソール。 • [Dell Remote Access] コンソール。 • [Dell CMC] コンソール。 • [Dell Modular Chassis Remote Access] コンソール。 • [Remote Desktop] コンソール。 • [Dell OpenMange Power Center] コンソール。 • [Dell Connections License Manager] ウェブコンソール。 • [Dell 保証情報] ウェブページ。 • [iDRAC] コンソール。 • [Dell License Manager] コンソール。 詳細に関しては、「タスク」を参照してください。

Dell Server Management Pack Suite

次の表では、本バージョンの管理パックとユーティリティ、およびそれらの相互依存性をリストします。

表 2. 管理パックの機能性と依存性

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
Dell Base Hardware Library	OpsMgr コンソールの [監視] ペインで Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義するための管理パックです。	なし
Dell Windows Server (拡張可能エディション)	サポートされている PowerEdge および PowerVault をコンポーネントグループレベルまで監視するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP
Dell Windows Server (詳細エディション)	サポートされている Dell PowerEdge および PowerVault をコンポーネントレベルで計装するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP
Dell Windows Server Overrides (情報アラートオン)	Dell OpenManage System Administrator からの情報アラートの監視を有効にするための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP

表 2. 管理パックの機能性と依存性（続き）

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
Dell CMC (OM07) MP Dell CMC (OM12) MP	CMC、DRAC/MC、および PowerEdge VRTX シャーシの検出および監視のための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell CMC Model MP Dell CMC Operations Library MP Dell CMC View MP Dell Common Operations Library MP
Dell DRAC (OM07) MP Dell DRAC (OM12) MP	Dell Remote Access Card (DRAC 5、iDRAC モジュールおよび iDRAC モノリシック) の検出および監視用の管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell DRAC Model MP Dell DRAC View MP Dell DRAC Operations Library MP Dell Common Operations Library MP
Chassis Blade Correlation Management Pack	Dell モジュラーシステムを CMC および DRAC/MC スロットと相関させるための管理パックです。 この機能は、OpsMgr 2007 R2 および OpsMgr 2012 でサポートされています。 ① メモ: 相関機能を動作させるには、[Run As アカウント] を設定して [CMC スロット検出] および / または [DRAC/MC スロット検出] を有効にする必要があります。詳細については、dell.com/support/manuals にある『<i>Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide</i>』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 のインストールガイド) の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。	Dell Base Hardware Library MP Dell Windows Server (拡張可能エディション) MP Dell Server Model MP Dell CMC (OM07) MP または Dell CMC (OM12) MP
Dell Server (帯域外) Management Pack	Dell PowerEdge システムをコンポーネントグループレベルまで検出し、監視するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server Model MP Dell Server Operations Library MP Dell Server View MP Dell Common Operations Library MP Microsoft System Center Out-of-Band Library (MPB) ① メモ: Microsoft SMASH ライブラリアイル (MPB) のインストールについての情報は、dell.com/support/manuals にある『<i>Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center</i>』

表 2. 管理パックの機能性と依存性（続き）

管理パックまたはユーティリティ	説明	依存関係
		Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide 』 (Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストールガイド) の「帯域外監視テンプレートのインストール」の項を参照してください。
Dell Server(帯域外)Detailed Monitoring On - Overrides MP	Dell PowerEdge システムをコンポーネントレベルまで検出し、監視するための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP Dell Server (帯域外) MP
Dell Feature Monitoring MP	OpsMgr で使用可能な Dell Server Management Pack Suite 機能の検出、監視、およびアップグレードのための管理パックです。	Dell Base Hardware Library MP

拡張可能エディションと詳細エディションの機能比較

次の表は、Dell Windows Server および Dell Server (Out-Of-Band) Management Pack の拡張可能エディションと詳細エディションを使用できる環境を理解するために役立ちます。

表 3. 拡張可能管理パックと詳細管理パックの違い

機能	拡張可能エディション	詳細エディション
サーバー（帯域内）監視	- コンポーネント階層 — 拡張可能 MP はコンポーネントグループまでの詳細と iDRAC の存在を監視し、表示します。 - レポート — この管理パックでは、OpenManage Windows イベントログレポートのみが利用可能です。	- 詳細 MP はコンポーネントレベルまでの詳細を監視および表示します。詳細 MP は、メモリ、プロセッサ、ネットワークインタフェース、ストレージコントローラ、ディスク、およびボリュームについての追加レベルの情報を提供します。さらに、BIOS 情報も表示されます。 - この管理パックでは、BIOS 設定、ファームウェアとドライバのバージョン、および RAID 設定の各レポートを利用できます。
サーバー（帯域外）監視	- 個々のコンポーネントまでのインベントリ。 - サーバーおよびコンポーネントグループレベルのみの正常性監視。	- 個々のコンポーネントのインベントリと正常性監視。 - 電源、温度、およびネットワークインタフェースカードのメトリックスの表示。

Dell Server Management Pack の機能性概要

このタスクについて

OpsMgr の Dell Server Management Pack Suite では、以下を行うことができます。

- Dell システムの検出と分類 — Dell サーバー、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell Chassis Management Controller (CMC)、PowerEdge VRTX、および Integrated DRAC (iDRAC) です。詳細については、「[検出とグループ化](#)」を参照して下さい。
- 検出された Dell システムを監視します。詳細については、「[監視](#)」を参照して下さい。
- 検出された Dell システムについてさまざまなタスクを実行します。詳細については、「[タスク](#)」を参照して下さい。
- 検出された Dell システムのレポートを表示します。詳細については、「[レポート](#)」を参照して下さい。

検出とグループ化

Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 では、Dell サーバー、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Dell Chassis Management Controller (CMC)、PowerEdge VRTX、および Integrated DRAC (iDRAC) を検出して分類できます。

以下の表は、Dell Server Management Pack Suite によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

グループ	監視機能	ダイアグラムビュー	ハードウェアタイプ
Dell Windows サーバー	Dell サーバー帯域内監視	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	OpenManage Server Administrator (バージョン 6.4 およびそれ以降) を実行する Dell PowerEdge と PowerVault システム。
Dell サーバー	Dell サーバー帯域外監視	Dell モノリシックサーバー Dell モジュラーサーバー	Dell PowerEdge システム
Dell CMC	Dell CMC 監視	Dell Chassis Management Controller	ネットワーク上の CMC、DRAC/MC インスタンス、および CMC と DRAC/MC のシャーシスロットサマリとサーバーモジュール。
Dell PowerEdge M1000e	Dell CMC 監視	Dell PowerEdge M1000e	Dell PowerEdge M1000e
Dell PowerEdge VRTX	Dell CMC 監視	Dell PowerEdge VRTX	Dell PowerEdge VRTX
Dell Remote Access Controller	Dell DRAC 監視	Remote Access Controller	DRAC 5、iDRAC モジュラー、および iDRAC モノリシックインスタンス。 <i>メモ:</i> DRAC 監視機能は、xx0x iDRAC モジュラーコントローラの検出をサポートしません。これらのデバイスは、サーバー(帯域内)監視機能の拡張可能エディションを使用して管理することができます。

トピック：

- サーバー (帯域内) 監視機能を使用した Dell サーバーの検出
- サーバー (帯域外) 監視機能を使用した Dell サーバーの検出
- シャーシデバイスの検出
- DRAC デバイスの検出
- Dell Server Management Pack Suite による検出

サーバー（帯域内）監視機能を使用した Dell サーバーの検出

このタスクについて

Dell サーバーは、OpsMgr エージェント管理インフラストラクチャを介して検出されます。

Dell サーバーは、OpsMgr コンソールの [管理] セクションにある [エージェント管理対象] ビューで検出する必要があります。

Dell サーバー（帯域内）監視機能を使用して Dell サーバーを検出するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、[管理] をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の [検出ウィザード] をクリックします。
4. [検出ウィザード] を実行し、[Windows コンピュータ] を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
5. Feature Management Dashboard から Dell Server Management Pack をインストールして、[サーバー（帯域内）監視] 機能を有効にします。

次の手順

 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator (OMSA) がインストールされていない、またはバージョン 6.4 より前の OMSA がインストールされている Dell サーバーは、Dell 管理対象外としてグループ化されます。

サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell サーバーの検出

このタスクについて

 **メモ:** マイクロソフト SMASH ライブラリ (MPB) ファイルがインストールされている必要があります。マイクロソフト SMASH ライブラリ (MPB) ファイルのインストールについての詳細は、dell.com/support/manuals にある『Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストールガイド) の「帯域外監視テンプレートのインストール」の項を参照してください。

Dell サーバー（帯域外）監視機能を使用して Dell サーバーを検出するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、[オーサリング] をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部で [監視の追加ウィザード] をクリックします。
[監視の追加ウィザード] 画面が表示されます。
4. [監視タイプの選択] 画面で、[WS-Management と SMASH デバイス検出] を選択して、[次へ] をクリックします。
5. [一般プロパティ] 画面の [名前] フィールドに、ウィザードの名前を入力します。
6. [管理パック] で、[新規] をクリックします。
[管理パックの作成] 画面が表示されます。
7. [名前] フィールドで管理パックの名前を入力して、[新規] をクリックします。
管理パックの作成についての情報は、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
8. [作成] をクリックします
[管理パック] ドロップダウンボックスで、作成された管理パックが選択されています。
9. [次へ] をクリックします。
10. [ターゲットの指定] ドロップダウンメニューで、帯域外デバイスの監視のためのリソースプールを選択して、[次へ] をクリックします。

11. [検出の実行に使用するアカウントの指定] 画面で、[新規] をクリックして、シンプル認証の Run As アカウントを作成します。
シンプル認証タイプの Run As アカウントの作成の詳細については、「[シンプル認証 Run As アカウントの作成](#)」を参照してください。
12. [Run As アカウント] ドロップダウンメニューから作成した Run As アカウントを選択して、[次へ] をクリックします。
13. [追加] をクリックします。
14. [デバイスの追加] 画面で、サーバー（帯域外）監視機能を使用して監視するシステムの iDRAC IP アドレスを指定します。システムの iDRAC IP アドレスは以下の方法で指定できます。
 - 提供した [IP サブネット] をスキャンする。
 - 指定された [IP 範囲] をスキャンする。
 - iDRAC IP アドレスのリストを含むテキストファイルをインポートする。
15. [詳細オプション] をクリックし、[CA チェックを省略] および [CN チェックを省略] オプションを選択して、[OK] をクリックします。
16. [デバイスのスキャン] をクリックして、ネットワーク上の第 12 世代 Dell PowerEdge システムを検索します。
IP アドレスが [使用可能デバイス] にリストされます。
17. [追加] をクリックして、監視する IP アドレスのリストを追加し、[OK] をクリックします。
18. [監視するデバイスの指定] 画面で、[作成] をクリックします。
19. [閉じる] をクリックします。
スキャンされた Dell サーバーは当初 [監視] > [WS-Management と SMASH 監視] > [WS-Management デバイス状態] 画面に表示されます。自動でトリガされた OpsMgr による SMASH 検出が完了すると、Dell サーバーが [監視] > [WS-Management と SMASH 監視] > [SMASH デバイス状態] 画面に表示されます。
20. Feature Management Dashboard から、サーバー（帯域外）監視機能を有効にします。

次の手順

-  **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能を使用して Dell サーバーを検出する前に、Dell Connections License Server の URL を設定してセットアップしておく必要があります。詳細に関しては、「[Dell Connections License Manager URL の設定](#)」を参照してください。

シンプル認証 Run As アカウントの作成

手順

1. OpsMgr 管理グループの管理者として OpsMgr 2012 にログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、[管理] をクリックします。
3. [アカウント] を右クリックして、[Run As アカウントの作成] をクリックします。
[Run As アカウントの作成ウィザード] 画面が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
5. [Run As アカウントタイプ] ドロップダウンメニューから、[シンプル認証] を選択します。
6. [表示名] テキストボックスに表示名を入力します。
7. [説明] テキストボックスに短い説明を入力して、[次へ] をクリックします。
8. [資格情報] 画面で、サーバー（帯域外）監視機能を使用して検出したいシステムの iDRAC ログイン資格情報を入力します。
[次へ] をクリックします。
9. 必要に応じて [低セキュリティ] または [高セキュリティ] オプションを選択します。
詳細に関しては、technet.microsoft.com/en-us/library/hh321655.aspx の OpsMgr マニュアルを参照してください。
 **メモ:** iDRAC ログイン資格情報がシステムごとに異なる場合、それぞれに個別の Run As アカウントを作成します。
10. [作成] をクリックします
11. [Run As アカウント] が作成されたら、[閉じる] をクリックします。

サーバー（帯域外）監視機能を使用した Dell サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け

このタスクについて

Dell サーバーを監視するためには、サーバーを検出するために使用した Run As アカウントを SMASH デバイス監視プロファイル内の Dell サーバーと関連付ける必要があります。Management Pack は関連付けを自動で実行しますが、手動で関連付けを行う必要がある場合もあります。

SMASH デバイス監視プロファイル内で Run As アカウントを手動で関連付けるには、次の手順を行います。

手順

1. OpsMgr 2012 を立ち上げて、[管理] をクリックします。
2. [管理] ペインで、[Run As 設定] > [プロファイル] と移動します。
3. 使用可能なプロファイルのリストから、[SNMP デバイス監視プロファイル] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
[はじめに] 画面が表示されます。
4. [次へ] をクリックします。
[Run As プロファイルの一般プロパティの指定] 画面が表示されます。
5. [次へ] をクリックします。
[Run As アカウント] 画面が表示されます。
6. [追加] をクリックします。
[Run As アカウントの追加] 画面が表示されます。
7. [Run As アカウント] ドロップダウンリストから、Dell サーバーの検出に使用した Run As アカウントを選択します。
 **メモ:** デバイスの検出に複数の Run As アカウントを使用している場合は、各デバイスを関連する Run As アカウントに関連付けます。
8. [選択したクラス、グループ、またはオブジェクト] をクリックして、SMASH 監視プロファイルでサーバーの関連付けを追加します。
 - [選択] > [クラス] オプションをクリックし、選択に [Dell サーバー] を使用します。
 - [選択] > [グループ] オプションをクリックし、選択に Dell サーバーオブジェクトを含むグループを使用します。
 - [選択] > [オブジェクト] オプションをクリックし、選択に個々の Dell サーバーオブジェクトを使用します。
9. [OK] をクリックします。
10. [保存] および [閉じる] をクリックします。

次の手順

-  **メモ:** Run As アカウントの関連付けが行われていないと、コンソールの [監視] > [アラートビュー] > [サーバーアラート] に、[Dell OM: サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗] アラートが表示されます。

シャーシデバイスの検出

シャーシデバイスは、OpsMgr コンソールの [管理] セクションにある [エージェント管理対象] ビューで検出する必要があります。

このタスクについて

シャーシデバイスを検出するには、次の手順を行います。

手順

1. OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
2. OpsMgr コンソールで、[管理] をクリックします。
3. ナビゲーションペイン下部の [検出ウィザード] をクリックします。
4. [検出ウィザード] を実行し、[ネットワークデバイス] を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。

メモ: シャーシデバイスの検出用に作成した [Run As アカウント] を選択します。詳細については、dell.com/support/manuals にある『Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストールガイド) の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

- OpsMgr 2012 の [デバイスコンソールの追加] 画面で、スキャンしたい IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の [Run As アカウント] ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
- Feature Management Dashboard から、シャーシ監視機能を有効にします。

DRAC デバイスの検出

シャーシデバイスの検出は、OpsMgr コンソールの [管理] セクションにある [エージェント管理対象] ビューで行ってください。

このタスクについて

DRAC デバイスを検出するには、次の手順を行います。

手順

- OpsMgr 管理者として管理サーバーにログオンします。
- OpsMgr コンソールで、[管理] をクリックします。
- ナビゲーションペイン下部の [検出ウィザード] をクリックします。
- [検出ウィザード] を実行し、[ネットワークデバイス] を選択して、画面上の指示に従います。
詳細に関しては、technet.microsoft.com にある OpsMgr マニュアルを参照してください。
- OpsMgr 2012 の [デバイスコンソールの追加] 画面で、スキャンしたい IP アドレスを入力し、SNMP V1 または V2 の [Run As アカウント] ドロップダウンボックスから適切な Run As アカウントを選択します。
- Feature Management Dashboard から、DRAC 監視機能を有効にします。

OpsMgr 2012 のための拡張性の推奨

このタスクについて

分散型セットアップにおける多数ネットワークデバイスの管理時に、同じ管理グループがエージェントベースのデバイスの管理にも使用されている場合は、デバイスタイプごとに管理サーバーの専用リソースプールを使用してください。

手順

- CMC および DRAC などの各タイプのネットワークデバイスを管理するための専用リソースプールを作成します。
- 特定のタイプのネットワークデバイスを管理する管理サーバーを、対応するリソースプールに追加します。
- [すべての管理サーバー] リソースプールから、これらの管理サーバーを削除します。

Dell Server Management Pack Suite による検出

以下の表には、Dell Server Management Pack Suite によって検出される Dell サーバー、CMC、DRAC、Dell PowerEdge VRTX、およびそのコンポーネントがリストされています。

Dell サーバー (帯域内) 監視機能による検出

表 5. Dell サーバー (帯域内) 監視機能の検出

検出	説明
[Dell サーバー検出]	お使いの Dell サーバーを分類し、属性データを投入します。

表 5. Dell サーバー（帯域内）監視機能の検出（続き）

検出	説明
[Dell サーバーネットワークインタフェース検出]	ネットワークインタフェースをお使いの Dell サーバーのグループレベルで検出します。
[Dell サーバーハードウェアコンポーネント検出]	グループレベルのハードウェアコンポーネント（センサー、プロセッサ、メモリ、および電源装置）を検出します。
[Dell OpenManage Software サービス検出]	OpenManage Server Administrator Windows サービスのオブジェクトを検出します。
[Dell サーバー BIOS 詳細検出]	各 Dell サーバーの BIOS オブジェクトを検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell サーバーメモリ詳細検出]	お使いの Dell サーバーのメモリインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell サーバー電源装置詳細検出]	お使いの Dell サーバーの電源装置インスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell サーバープロセッサ詳細検出]	お使いの Dell サーバーのプロセッサインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell サーバーストレージ詳細検出]	お使いの Dell サーバーの完全なストレージ階層を検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell Windows サーバーネットワークインタフェース詳細検出モジュール]	お使いの Dell サーバーの物理およびチームングされたネットワークインタフェースインスタンスを検出します（詳細エディションのみ）。
[Dell Windows サーバーネットワークインタフェースグループ検出モジュール]	ネットワークインタフェースグループを検出します。
[Dell 管理対象外サーバーグループ検出]	Dell 計装がない、または計装のバージョンが必要なバージョンより前のものであるために監視されていない Dell サーバーを検出します。

Dell サーバー（帯域外）監視機能による検出

表 6. Dell サーバー（帯域外）監視機能検出

検出オブジェクト	説明
[Dell サーバー検出]	お使いの Dell サーバーを分類し、基本属性およびコンポーネントにデータを投入します
[Dell Device Helper 検出]	[DellDeviceHelper] をオブジェクトとして検出します。

DRAC 監視機能による検出

表 7. DRAC 監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
[DRAC 5 または iDRAC 検出]	サポートされている Dell Remote Access 5 Controller および Integrated Remote Access Controller をすべて検出します。

表 7. DRAC 監視機能の検出（続き）

検出オブジェクト	説明
[Dell Integrated Remote Access モジュール検出]	モジュールシステム用 Dell Integrated Remote Access Controller のシャーシ名とシャーシサービスタグを検出します。
[iDRAC 6 モジュール検出]	iDRAC 6 (モジュール) グループを検出します。
[iDRAC 6 モノリシック検出]	iDRAC 6 (モノリシック) グループを検出します。
[iDRAC 7 モジュール検出]	iDRAC 7 (モジュール) グループを検出します。
[iDRAC 7 モノリシック検出]	iDRAC 7 (モノリシック) グループを検出します。
[Dell Remote Access グループ検出]	Dell Remote Access グループを検出し、iDRAC にデータ投入します。
[Dell Remote Access 5 グループ検出]	Dell Remote Access 5 Controller 搭載の Dell Remote Access 5 グループを検出します。
[Dell Integrated Remote Access モノリシックグループ検出]	Dell Integrated Remote Access モノリシックグループと iDRAC (モノリシック) を検出します。
[Dell Integrated Remote Access モジュールグループ検出]	iDRAC (モジュール) グループを検出してデータ投入します。

Dell シャーシ監視機能による検出

表 8. Dell シャーシ監視機能の検出

検出オブジェクト	説明
[Dell CMC 検出]	サポートされているすべての Dell CMC、PowerEdge VRTX、および PowerEdge M1000e を検出します。
[Dell CMC スロット検出]	CMC デバイス上のスロットを検出します。
[Dell DRAC/MC 検出]	サポートされている Dell DRAC/MC をすべて検出します。
[Dell DRAC/MC スロット検出]	スロットおよびシャーシのスロットサマリを検出します。

シャーシブレード関連機能による検出

表 9. シャーシブレード関連機能の検出

検出オブジェクト	説明
[Dell CMC シャーシからモジュラーサーバーへの相関検出]	CMC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。
[Dell DRAC/MC シャーシからモジュラーサーバーへの相関検出]	DRAC/MC シャーシと Dell モジュラーシステムの相関関係を検出します。

Dell Feature Management Pack による検出

表 10. Dell Feature Management Pack 検出

検出オブジェクト	説明
[Dell レジストリ検出]	レジストリ内の管理サーバーの基本名を設定します。
[Dell ライセンス設定検出]	Dell Connections License Manager のウェブサーバー URL を設定します。
[Dell Feature Management ホスト検出]	管理サーバー一連から、Feature Management Dashboard およびタスクを実行するためのホストサーバーを選択します。
[Dell レジストリベースの Server Management Suite 検出]	インストールされている Server Management Pack Suite のレジストリをチェックして、ベースオブジェクトを作成します。

オブジェクト検出のカスタマイズ

オブジェクト検出は、監視が必要なネットワーク上のオブジェクトを見つけるために使用されます。

Server Management Pack Suite 検出パラメータは、以下の上書きオプションを使用してカスタマイズできます。

- [有効] — 検出を有効化または無効化することができます。[上書き設定] は [True] または [False] に設定できます。
- [検出間隔 (秒)] — Dell Server Management Pack がお使いの Dell サーバーのコンポーネントインスタンスと属性を検出する頻度 (秒数) です。この属性のデフォルト値は 24 時間 (1 日) です。

監視

本バージョンの Dell Server Management Pack Suite では、検出された Dell サーバーとネットワークデバイスの監視が可能です。**重要度レベルのインジケータ**は、ネットワーク上にあるお使いの Dell デバイスの正常性監視に役立ちます。

メモ: OpsMgr 2012 を実行しているシステムでアラートを受信するには、[dell.com/support/manuals] にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center Operations Manager And System Center Essentials Installation Guide*』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストールガイド) の「トラップの監視とトラップベースのユニット監視を行うための OpsMgr 2012 の設定」の項を参照してください。

監視には以下が含まれます。

- サーバー上で実行されている Dell OpenManage Server Administrator (Server Administrator) エージェントから発生したイベントを処理し、OpsMgr コンソールにアラートを表示。
- Dell モジュラーシステムとモノリシックシステム、およびそれらのコンポーネント、シャーシ、DRAC デバイスの状態を、どちらも定期的な間隔およびイベントの発生時に監視。
- SNMP トラップと、Dell サーバー (サーバー帯域外監視機能で検出されたもの)、CMC、DRAC/MC、および Dell Remote Access Controllers のナレッジベースを処理。

サーバー (帯域内) 監視機能とサーバー (帯域外) 監視機能で監視されたシステムコンポーネントは完全に同じではないため、帯域内 (OMSA) メソッドと帯域外 (iDRAC) メソッドで示される全体的なサーバー状態が異なる可能性があります。このような不一致があった場合には、特定のコンポーネントステータスをドリルダウンし、システムコンポーネント内の特定の問題状態を解決して全体的なサーバーの正常性を [OK] 状態にしてください。

トピック：

- [重要度レベルのインジケータ](#)
- [ビュー](#)
- [ユニット監視](#)
- [ルール](#)

重要度レベルのインジケータ

以下の表は、OpsMgr コンソールにおける検出された Dell デバイスの重要度を示すアイコンをリストしています。

表 11. 重要度レベルのインジケータ

アイコン	重大度レベル
	[正常 / OK] — コンポーネントは正常に動作しています。
	[警告 / 非重要] — プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	[重要 / 障害 / エラー] — コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	正常性ステータスは、特定のコンポーネントには適用されません。

表 11. 重要度レベルのインジケータ（続き）

アイコン	重大度レベル
	サービスを利用できません。

ビュー

Dell Server Management Pack Suite では、OpsMgr コンソールの [Dell] フォルダーに、以下の種類のビューを提供します。

- アラートビュー
- ダイアグラムビュー
- 状態ビュー
- パフォーマンスおよび電源監視ビュー

アラートビュー

このビューは、Dell システム、Dell サーバー、ネットワークインタフェース、および DRAC デバイスからのハードウェアおよびストレージイベントを管理するために使用できます。次のアラートとトラップが Server Management Pack Suite によって表示されます。

- Server Administrator から受信した、サーバー（帯域内）監視機能によって検出されたサーバーに対するイベントのアラート。
メモ: 情報アラートはデフォルトでオフになっています。情報アラートを有効にするには、[Feature Management Dashboard] で Dell サーバー（帯域内）監視のために [情報アラートをオンに設定（サーバー帯域内）] タスクを実行します。詳細に関しては、「機能管理タスク」を参照してください。
- Dell PowerEdge および PowerVault システムの Broadcom および Intel ネットワークインタフェースカードから受信したイベントのリンクアップまたはリンクダウンアラート。
- DRAC およびシャーシデバイスによって送信された SNMP トラップ。
- Dell サーバーのプラットフォームイベントトラップ（PET）。

OpsMgr コンソールでのアラートの表示

このタスクについて

OpsMgr コンソールでアラートを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソール を起動して、[監視] をクリックします。
2. [Dell] > [アラートビュー] とクリックします。
 次の個別の [アラートビュー] が表示されます。
 - [CMC アラート] — 検出されたシャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - [ネットワークインタフェースアラート] — 検出された NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラートが表示されます。
 - [DRAC/MC アラート] — 検出された DRAC/MC デバイスからのイベントおよび SNMP トラップが表示されます。
 - [PET トラップアラート] — 検出された Dell サーバーからのプラットフォームイベントトラップが表示されます。
 - [Remote Access アラート] — DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7 デバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - [サーバーアラート] — サーバー（帯域外）監視機能を使用して検出された場合、Dell システムの Server Administrator アラート、Dell サーバーの NIC からのリンクアップおよびリンクダウンアラート、および iDRAC 7 搭載 PowerEdge 12G サーバーの SNMP トラップが表示されます。
 - [Dell M1000e シャーシアラート] — 検出された Dell PowerEdge M1000e シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
 - [Dell VRTX シャーシアラート] — 検出された Dell PowerEdge VRTX シャーシデバイスからの SNMP トラップが表示されます。
3. 任意の [アラートビュー] を選択します。

各 [アラートビュー] の右ペインに、アラートの重要度、解決状態などのユーザー指定の条件を満たすアラート、またはユーザーに割り当てられたアラートが表示されます。

4. [アラート詳細] ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

[ダイアグラムビュー] には、お使いのネットワーク上にあるすべての Dell サーバーの階層的な図が表示されます。

OpsMgr コンソールでのダイアグラムの表示

このタスクについて

OpsMgr コンソールでダイアグラムを表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールを起動して、[監視] > [Dell] > [ダイアグラムビュー] とクリックします。
2. 左側の [監視] ペインで Dell フォルダに移動し、次のビューを表示します。
 - [完全ダイアグラムビュー](#)
 - [モジュラーシステムダイアグラム](#)
 - [モノリシックサーバーダイアグラム](#)
 - [シャーシ管理コントローラグループ](#)
 - [Remote Access Controller グループ](#)
 - [Dell シャーシダイアグラムビュー](#)
3. 任意の [ダイアグラムビュー] を選択します。
右側のペインに、選択した Dell デバイスの階層的な図が表示されます。
4. ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] ペインに詳細を表示します。

完全ダイアグラムビュー

[完全ダイアグラムビュー] には、OpsMgr が管理するすべての Dell デバイスが図示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイス、およびそれらのコンポーネントのステータスを展開して確認することができます。次に関する詳細を表示できます。

- モジュラーおよびモノリシックシステム
- Chassis Management Controllers および DRAC/MC デバイス
- Remote Access Controller
- Dell 管理対象外サーバー

モジュラーおよびモノリシックシステム

[モジュラーシステムダイアグラム] および [モノリシックサーバーダイアグラム] ビューには、次の詳細情報が表示されます。

- ネットワークインタフェース
 - 物理インタフェースおよびチームングされたネットワークインタフェース (サーバー帯域内監視のみ)
 - 物理インタフェース (サーバー帯域外監視のみ)
- メモリ
- 電源装置 (モノリシックシステムのみ)
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage Software サービス (サーバー帯域内監視のみ)
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト (インベントリのみ)
- iDRAC (インベントリのみ)
 - iDRAC NIC (サーバー帯域外監視のみ)

モジュラーシステムダイアグラム

[Dell モジュラーシステムのダイアグラム] ビュー は、すべての Dell モジュラーシステムのグラフィック描写が表示されます。このビューでダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

モノリシックサーバーダイアグラム

[Dell モノリシックシステムのダイアグラムビュー] では、すべての Dell モノリシックシステムが図示され、ダイアグラム内の個々のデバイスやコンポーネントを展開して、そのステータスを確認できます。

Dell サーバーインスタンスダイアグラム

Dell システムを選択し、[Dell モジュラーシステム] または [Dell モノリシックシステムのダイアグラム] ビューから、そのシステムに固有なダイアグラムを表示します。

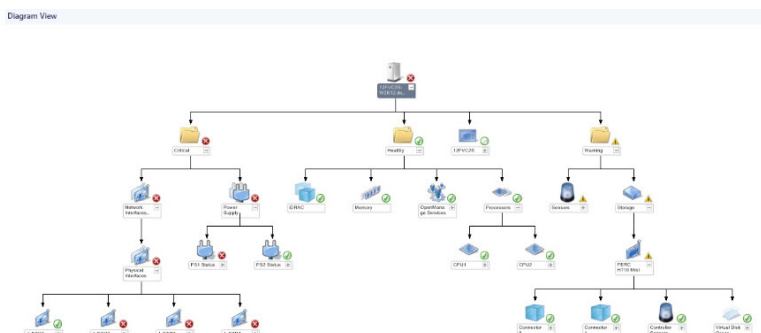


図 1. Dell サーバーインスタンスダイアグラム - 詳細管理パック

システム固有のダイアグラムは、次のコンポーネントのステータスを図示および表示します。

- ネットワークインターフェース
 - 物理インターフェースおよびチーミングされたネットワークインターフェース（サーバー帯域内監視のみ）
 - 物理インターフェース（サーバー帯域外監視のみ）
- メモリ
- 電源装置（モノリシックシステムのみ）
- センサー
- プロセッサ
- Dell OpenManage Software サービス（サーバー帯域内監視のみ）
- ストレージコントローラ
- BIOS オブジェクト（インベントリのみ）
- iDRAC（インベントリのみ）
 - iDRAC NIC（サーバー帯域外監視のみ）

メモリ、プロセッサ、および電源装置コンポーネントは、詳細エディションのサーバー監視機能によって詳細に表示されます。

ストレージコントローラのコンポーネント階層

物理ディスク、コネクタ、仮想ディスク、コントローラ、センサー、エンクロージャなどのコンポーネントのステータスと正常性を表示するには、任意の Dell システムインスタンスダイアグラムビューで [ストレージ] コンポーネントを展開します。

ネットワークインターフェースのコンポーネント階層

ネットワークインターフェースグループは、Intel または Broadcom ネットワークインターフェースが存在し、Dell Windows Server 上で有効になっている場合にのみ作成されます。ネットワークインターフェースは、[物理インターフェース] および [チーミングされたインターフェース] グループに分類されます。ネットワークインターフェースを無効にすると、次の検出サイクル時に管理から削除されます。

メモ: サーバー帯域外監視機能により、物理ネットワークインターフェースは [ネットワークインターフェースカード] グループ下に表示され、iDRAC 7 ネットワークインターフェースは [iDRAC] オブジェクトの下に表示されます。

チーミングされたネットワークインターフェースと、それに関連する物理ネットワークインターフェースの間に、参照関係が作成されます。参照関係は、[Dell Windows Server の物理およびチーミング関係検出] の [相関関係の有効化] 属性が有効になっているときのみ表示できます。詳細に関しては、「[相関関係の有効化](#)」を参照してください。

相関関係の有効化

このタスクについて

[相関関係の有効化] 属性を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、[オーサリング] をクリックします。
3. [オーサリング] タブで、[管理パックオブジェクト] > [オブジェクト検出] とクリックします。
4. 画面上部にある [スコープ] をクリックします。
[スコープ管理パックオブジェクト] 画面が表示されます。
5. [すべてのターゲットを表示] オプションを選択して、[検索 :] フィールドに Dell と入力します。
6. [チーミングされたネットワークインターフェースインスタンス (ベーシック)] および [チーミングされたネットワークインターフェースインスタンス (エンリッチ)] オプションを選択して [OK] をクリックします。
7. [Dell Windows サーバー物理関係およびチーミングされた関係の検出ルール] > [上書き] > [オブジェクト検出の上書き] > [クラスの全オブジェクト : チーミングされたネットワークインターフェースインスタンス (エンリッチ)] を右クリックし、とクリックします。
[プロパティの上書き] ページが表示されます。
8. [相関関係の有効化] を選択して、[上書き値] を [True] に設定し、[OK] をクリックします。

次の手順

ダイアグラムビューにあるネットワークインターフェースのステータスロールアップは、[ネットワークインターフェース] グループレベルまでのみが表示されます。例えば、Dell システムの残りのコンポーネントが正常で、1つのみ、または複数のネットワークインターフェースが重要または非重要状態である場合、Dell サーバーによって正常アイコンが表示され、[ネットワークインターフェース] グループによって重要または警告アイコンが表示されます。

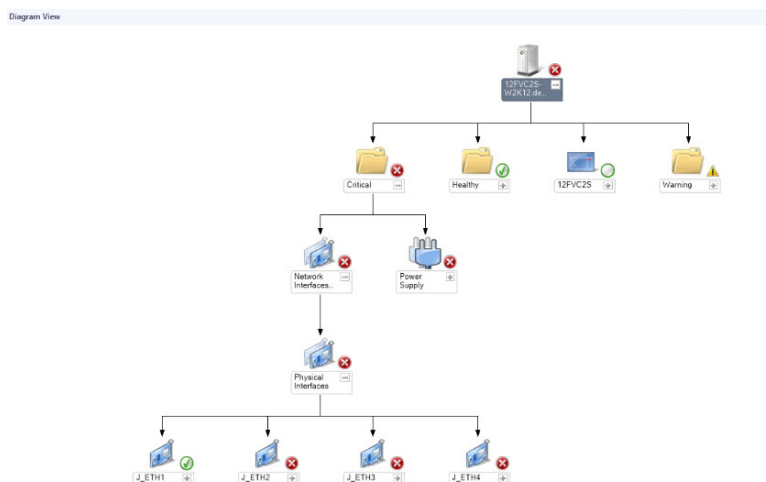


図 2. ネットワークインターフェースのダイアグラムビュー

ネットワークインターフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップの有効化

このタスクについて

サーバーレベルでの状態ロールアップを表示するには、[ネットワークインターフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ] 依存性監視を有効化する必要があります。

監視を有効化するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールを立ち上げます。
2. ナビゲーションペインで、[オーサリング] をクリックします。
3. 左ペインで [監視] をクリックし、[ネットワークインタフェースグループ監視] を選択します。
4. [エンティティ正常性] > [可用性] とクリックします。
5. [ネットワークインタフェースグループから Dell サーバーへの正常性ロールアップ] を右クリックし、メニューオプションから、[上書き] > [監視の有効化] を選択します。

シャーシ管理コントローラグループ

[シャーシ管理コントローラグループ] ダイアグラムビューには、すべての Dell CMC、DRAC/MC、Dell PowerEdge M1000e、および Dell PowerEdge VRTX の図解と、これらのインベントリが表示されます。シャーシ検出については、「[シャーシデバイスの検出](#)」を参照してください。

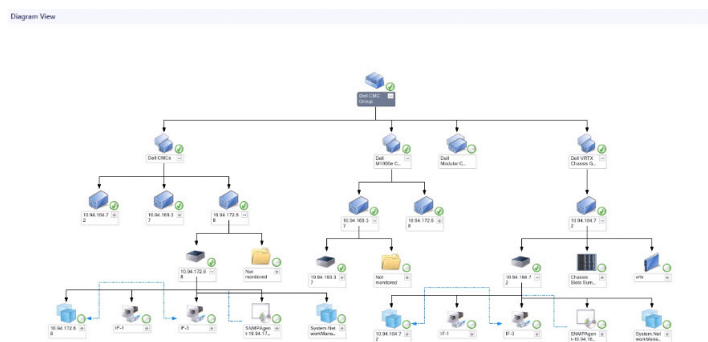


図 3. Chassis Management Controller グループのダイアグラム

検出された CMC および DRAC/MC シャーシに関しては、シャーシスロットサマリで使用中、および未使用スロットのサマリを表示することができます。

CMC および DRAC/MC シャーシで変更されたスロット名は、ダイアグラムビューに反映されます。

Dell サーバーと、CMC および DRAC/MC シャーシのサーバーモジュールとの相関関係は、[Chassis Management Controller グループ] ダイアグラムに表示されます。Dell システムは、ダイアグラム内のスロットの下にあります。

メモ: CMC および DRAC/MC スロットの検出用には、シンプル、基本、またはダイジェスト認証のみを持つ [Run As アカウント] を作成してください。詳細については、[[dell.com/support/manuals](#)] にある『*Dell Server Management Pack Suite Version 5.1 For Microsoft System Center Operations Manager and System Center Essentials Installation Guide*』(Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストールガイド) の「サーバーモジュールとシャーシスロットサマリを相関させるための Dell Chassis Management Controller 機能の設定」の項を参照してください。

メモ: モジュラーシステムの iDRAC ファームウェアは、CMC ファームウェアとの互換性があるようにしてください。互換性がない場合、サービスタグが [該当なし] と表示され、シャーシブレード相関が不可能になる場合があります。

Remote Access Controller グループ

[Remote Access Controller グループ] ダイアグラムビューは、すべての DRAC 5、iDRAC 6、および iDRAC 7 (モジュラーおよびモノリシック) デバイスを図示します。ダイアグラム内のコンポーネントを選択して、[詳細ビュー] ペインにそのデバイスの詳細を表示します。

Dell シャーシダイアグラムビュー

状態ビュー

状態ビューを表示したいデバイスグループを選択します。例えば、[サーバー] をクリックして、お使いのモノリシックおよびモジュラーシステムのステータスを表示します。以下のグループのステータスを表示できます。

- コンポーネントの正常性は、そのコンポーネントに関連付けられた未解決のアラートを見直すことにより取得されます。「**重大度レベルインジケータ**」では、Server Management Pack Suite が対応する重大度レベルと共に 使用する様々な状態のコンポーネントについて説明しています。

パフォーマンスおよび電源監視ビュー

パフォーマンスと電源監視を OpsMgr コンソールで表示するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソール を起動して、[監視] をクリックします。
2. [監視] ペインで、[Dell] > [パフォーマンスおよび電源監視] をクリックして、以下のビューを表示します。
 - [環境温度 (セ氏)]
 - [アンペア数 (アンペア)]
 - [エネルギー消費量 (kWh)]
 - [ピークアンペア数 (アンペア)]
 - [ピーク電力 (ワット)]
 - [物理ネットワークインタフェース]
 - [電力消費量 (ワット)]
 - [電力消費量 (BTU/ 時)]
 - [チューニングされたネットワークインタフェース]
 - [Dell パフォーマンスビュー]

i

メモ: 電源監視は、特定の属性のための電源監視機能を備えた Dell サーバーのみに該当します。この機能は、サーバー帯域内監視機能の詳細エディションが存在する場合にのみ有効です。

i

メモ: チューニングされたネットワークインタフェースおよび物理ネットワークインタフェースは、デフォルトでは無効になっており、サーバー帯域内監視機能の詳細エディションがインストールされ、存在する場合のみ表示されます。

i

メモ: Dell パフォーマンスおよび電源監視ビューは、サーバー帯域外監視機能からのみ使用可能です。すべてのパフォーマンスメトリックルールは、サーバー帯域外監視機能用にデフォルトで無効になっています。
3. 個々のパフォーマンスビューからカウンタを選択し、時間範囲 (必須値) を選択します。
収集されるデータは、各システムについて図形式で表示されます。

次の手順

ユニット監視は、2つの連続するサイクルでパフォーマンスカウンタを監視し、それがしきい値を超過するかどうかをチェックします。しきい値を超過すると、サーバーが状態を変更してアラートを生成します。このユニット監視はデフォルトで無効になっています。しきい値は、OpsMgr コンソールの [オーサリング] ペインから上書き (有効にして変更) することができます。ユニット監視は、サーバー帯域内監視機能では [Dell Windows Server オブジェクトの監視] で、サーバー (帯域外) 監視機能では [Dell Server オブジェクトの監視] で使用できます。

パフォーマンス情報コレクションの詳細に関しては、[[パフォーマンスコレクションルール](#)] を参照してください。

ユニット監視

ユニット監視は、監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状況を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態を決定します。

ユニット監視には以下が含まれます。

- [イベント監視] — この監視は Dell 計装が Windows イベントログに記録するイベントによってトリガされ、対応するオブジェクトの正常性を示します。
- [定期監視] — 秒数間隔で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

以下の表は、各種 Dell 監視、およびお使いの Dell デバイスのための該当パラメータを説明しています。

サーバー (帯域内) 監視機能のための Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

サーバー (帯域内) — 拡張可能エディションの監視対象オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 12. サーバー (帯域内) 監視機能のための Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション

オブジェクト	ユニット監視
[メモリ]	

表 12. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション（続き）

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバーメモリステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーメモリ冗長ステータス	イベントおよび定期的監視
[OpenManage Software サービス]		
	Dell Server Management (DSM) 接続サービス可用性ステータス	定期的
	DSM Data Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Event Manager 可用性ステータス	定期的
	DSM Shared Service 可用性ステータス	定期的
	DSM Storage Service 可用性ステータス	定期的
	Windows Management Instrumentation (WMI) サービス可用性ステータス	定期的
[電源装置]		
	Dell サーバー電源装置ステータス	イベントおよび定期的監視
[プロセッサ]		
	Dell サーバープロセッサステータス	イベントおよび定期的監視
[センサー]		
	Dell サーバーバッテリステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電流ステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーファンスステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバーイントルージョンセンサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー温度センサーステータス	イベントおよび定期的監視
	Dell サーバー電圧センサーステータス	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラ]		
	ストレージコントローラステータス	イベントおよび定期的監視
[ネットワークインタフェースグループ (ベーシック)]		
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視
[ネットワークインタフェースグループ (エンリッチ)]		
	グローバルエンリッチネットワークインタフェースステータス	イベントおよび定期的監視
	グローバルネットワークインタフェース (ベーシック) 接続性ステータス	イベントおよび定期的監視

表 12. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 拡張可能エディション（続き）

オブジェクト		ユニット監視
[iDRAC]		
	Dell サーバー iDRAC ネットワークインタフェース監視	定期的

サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 詳細エディション

サーバー（帯域内） — 詳細エディションの監視対象オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 13. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 詳細エディション

オブジェクト		ユニット監視
[メモリユニットインスタンス]		
	メモリエvent詳細監視	イベントおよび定期的監視
	メモリユニット詳細監視	イベントおよび定期的監視
[電源装置ユニットのインスタンス]		
	電源装置詳細	イベントおよび定期的監視
[プロセッサユニットのインスタンス]		
	プロセッサ詳細	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラコネクタのインスタンス]		
	コントローラコネクタイvent監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラコネクタユニット監視	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラ EMM のインスタンス]		
	エンクロージャ EMM イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ EMM ユニット監視	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラエンクロージャのインスタンス]		
	コントローラエンクロージャイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラエンクロージャユニット監視	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラ物理ディスクのインスタンス]		
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクイベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ物理ディスクユニット監視	イベントおよび定期的監視

表 13. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 詳細エディション（続き）

オブジェクト		ユニット監視
[ストレージコントローラ電源装置のインスタンス]		
	エンクロージャ電源装置イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ電源装置ユニット監視	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラセンサー]		
	コントローラセンサーイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	コントローラセンサーユニット監視	イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラ仮想ディスクグループ]		イベントおよび定期的監視
[ストレージコントローラ仮想ディスクのインスタンス]		イベントおよび定期的監視
	コントローラ物理ディスクイベント監視	イベント
	コントローラ物理ディスクユニット監視	定期的
[ストレージエンクロージャ物理ディスクグループ]		イベントおよび定期的監視
[ストレージエンクロージャセンサー]		
	エンクロージャファンイベントユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャファンユニット監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度イベント監視	イベントおよび定期的監視
	エンクロージャ温度ユニット装置	イベントおよび定期的監視
[物理ネットワークインタフェースのインスタンス（ベーシック）]		
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
[物理ネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）]		
	管理ステータス	イベントおよび定期的監視
	接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	動作ステータス	イベントおよび定期的監視
[チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（ベーシック）]		
	チーミングされたネットワークインタフェース（ベーシック）可用性ステータス	イベントおよび定期的監視
[チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）]		
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）管理ステータス	イベントおよび定期的監視

表 13. サーバー（帯域内）監視機能のための Dell ユニット監視 — 詳細エディション（続き）

オブジェクト		ユニット監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）接続ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）リンクステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）動作ステータス	イベントおよび定期的監視
	チーミングされたネットワークインタフェースのインスタンス（エンリッチ）冗長ステータス	イベントおよび定期的監視

サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視

サーバー（帯域外）監視オブジェクトで発生する可能性のある様々な状態を評価するための監視です。

表 14. サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
[Dell サーバー]		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
[Dell サーバーメモリ]		
	Dell サーバーメモリユニット	定期的
[Dell サーバーメモリグループ]		
	Dell サーバーメモリグループ	定期的
[Dell サーバー電源装置]		
	Dell サーバー電源装置ユニット	定期的
[Dell サーバー電源装置グループ]		
	Dell サーバー電源装置グループ	定期的
[Dell サーバープロセッサ]		
	Dell サーバー CPU	定期的
[Dell サーバープロセッサグループ]		
	Dell サーバープロセッサグループ	定期的
[Dell ストレージコントローラ]		
	Dell サーバーストレージコントローラ	定期的
[Dell サーバーコントローラバッテリー]		

表 14. サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視（続き）

オブジェクト		ユニット監視
	Dell サーバーコントローラバッテリーユニット	定期的
[Dell バッテリーセンサー]		
	Dell サーバーバッテリーセンサーの正常性	定期的
[Dell バッテリーセンサーグループ]		
	Dell サーバーバッテリーグループセンサーの正常性	定期的
[Dell 電流センサー]		
	Dell サーバー電流センサーの正常性	定期的
[Dell ファンセンサー]		
	Dell サーバーファンセンサーの正常性	定期的
[Dell ファンセンサーグループ]		
	Dell サーバーファングループセンサーの正常性	定期的
[Dell イントルージョンセンサー]		
	Dell サーバーイントルージョンセンサーの正常性	定期的
[Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムあり）]		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
[Dell モジュラーブレードサーバー（オペレーティングシステムなし）]		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
[Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムあり）]		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
[Dell モノリシックサーバー（オペレーティングシステムなし）]		
	Dell サーバー Run As アカウント関連	定期的
	Dell サーバーユニット監視	定期的
[Dell ネットワークインタフェースグループ]		
	Dell サーバーネットワークインタフェースグループ	定期的
[Dell 物理ネットワークインタフェース]		
	Dell サーバーネットワークインタフェースユニット	定期的

表 14. サーバー（帯域外）監視機能のための Dell ユニット監視（続き）

オブジェクト		ユニット監視
[Dell サーバーコネクタエンクロージャ]		
	Dell サーバーコネクタエンクロージャ	定期的
[Dell ストレージコントローラエンクロージャ EMM D]		
	Dell サーバーエンクロージャ EMM	定期的
[Dell ストレージコントローラエンクロージャファンセンサー]		
	Dell サーバーエンクロージャファンセンサー	定期的
[Dell ストレージコントローラエンクロージャ物理ディスク]		
	Dell サーバーエンクロージャ外部物理ディスク	定期的
[Dell ストレージコントローラエンクロージャ電源装置]		
	Dell サーバーエンクロージャ電源装置	定期的
[Dell ストレージコントローラエンクロージャ温度センサー]		
	Dell サーバー温度センサー	定期的
[Dell ストレージコントローラ内部物理ディスク]		
	Dell サーバー内部物理ディスクユニット	定期的
[Dell ストレージコントローラ物理ディスク]		
	Dell サーバーコントローラダイレクトアタッチド物理ディスク	定期的
[Dell ストレージグループ]		
	Dell サーバーストレージ	定期的
[Dell ストレージ仮想ディスク]		
	Dell サーバーコントローラ仮想ディスクユニット	定期的
[Dell 温度センサー]		
	Dell サーバー温度センサーの正常性	定期的
[Dell 温度センサーグループ]		
	Dell サーバー温度センサグループの正常性	定期的
[Dell 電圧センサー]		
	Dell サーバー電圧センサーの正常性	定期的
[Dell 電圧センサーグループ]		
	Dell サーバーセンサー電圧グループ	定期的

シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

シャーシ監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 15. シャーシ監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
[Dell CMC]		
	Dell CMC ステータス	イベントおよび定期的監視
[DRAC/MC]		
	Dell DRAC/MC ステータス	イベントおよび定期的監視

DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

DRAC 監視対象オブジェクトで発生するさまざまな状況を評価するための監視です。

表 16. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視

オブジェクト		ユニット監視
[iDRAC6 モジュール]		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
[iDRAC6 モノリシック]		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
[iDRAC7 Modular (iDRAC7 モジュール)]		
❗ メモ: iDRAC7 モジュールおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
[iDRAC7 Monolithic (iDRAC7 モノリシック)]		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
[iDRAC8 モジュール]		
❗ メモ: iDRAC8 モジュールおよびモノリシックサーバーでは、Dell RAC 定期ベースおよび Dell RAC トリガベースのユニット監視は無効になっています。		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視

表 16. DRAC 監視機能のための Dell ユニット監視（続き）

オブジェクト		ユニット監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視
[iDRAC8 モノリシック]		
	Dell Remote Access ステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルステータス	イベントおよび定期的監視
	コントローラグローバルストレージステータス	イベントおよび定期的監視

ユニット監視のカスタマイズ

次の上書きを使用して、Dell Server Management Pack Suite のパラメータをカスタマイズすることができます。

- [有効] — 監視を有効化または無効化することができます。[上書き設定] は [True] または [False] に設定できます。
- [間隔秒数] — Server Management Pack Suite がコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスをポーリングする頻度（秒数）です。

ルール

以下の項では、Dell Server Management Pack Suite に特有のルールをリストしています。

Dell システムイベント処理のルール

Dell Server Management Pack Suite は、Server Administrator、Server Administrator Storage Management イベント、DRAC、およびシャーシトラップからのルールを処理します。

サーバーシステム管理者

Server Administrator のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- イベント ID = Server Administrator 計装イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

ストレージ管理

Server Administrator Storage Management Service のすべての情報、警告、および重大イベントには、それぞれ該当するイベント処理のルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Server Administrator"
- Event ID（イベント ID）= Server Administrator Storage Management Service イベントの実際のイベント ID
- データプロバイダ = Windows システムのイベントログ

DRAC およびシャーシデバイス

DRAC およびシャーシデバイスのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップのルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "DRAC/CMC/DRAC/MC 名または ip"
- OID = DRAC /CMC/DRAC/MC SNMP トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップ

 **メモ:** 情報アラートは、デフォルトでオフになっています。情報アラートを取得するには、MP で情報アラートをインポートしてください。

Dell サーバー

サーバー（帯域外）監視機能を使用して検出された Dell サーバーのすべての情報、警告、および重要 SNMP トラップには、対応する SNMP トラップルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ソース名 = "Dell サーバー IP"
- OID = トラップイベントの実際のトラップ ID
- データプロバイダ = SNMP トラップイベントプロバイダ

パフォーマンスコレクションルール

OpsMgr コンソールで、[監視] > [Dell] > [パフォーマンスおよび電源監視ビュー] をクリックして、Dell サーバーから収集されたパフォーマンス情報を表示します。この機能は、デフォルトでは無効になっており、機能の有効化については、「[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールは、以下のパラメータについての情報を収集します。

- [環境温度 (セ氏)]
- [アンペア数 (アンペア)]
- [Dell パフォーマンスビュー]
- [エネルギー消費量 (kWh)]
- [ピークアンペア数 (アンペア)]
- [ピーク電力 (ワット)]
- [物理ネットワークインタフェース]
- [電力消費量 (BTU/時)]
- [電力消費量 (ワット)]
- [チェミングされたネットワークインタフェース]

 **メモ:** サーバー管理機能の詳細エディションをインポートすると、無効のパフォーマンス（ネットワークパフォーマンスを除く）コレクションルールがデフォルトで有効化されます。

 **メモ:** ネットワーク統計は、サーバー監視機能の詳細エディションのみで定義されており、デフォルトで無効になっています。この機能の有効化については、「[パフォーマンスコレクションルールの有効化](#)」を参照してください。

パフォーマンスコレクションルールの有効化

このタスクについて

この機能を有効にするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールを起動して、[オーサリング] をクリックします。
2. [ルール] をクリックして、パフォーマンスコレクションルールを検索します。
3. 有効にするルールを右クリックします。
例えば、すべての Dell システムのネットワークインタフェースの情報を収集するには、下記のルールに対して手順 4~5 を実行します。
 - 送信されたパケットの総数
 - 受信されたバイト数
 - 受信されたパケット総数

- 送信されたバイト数

4. [上書き] > [ルールの上書き] > [クラスの全オブジェクト] と選択します。
5. [上書き] を選択し、[上書き値] を [True] にします。
6. [Apply] (適用) をクリックします。

タスク

タスクは、OpsMgr コンソールの [タスク] ペインで使用できます。デバイスまたはコンポーネントを選択すると、関連するタスクが [タスク] ペインに表示されます。

① メモ: System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクション] ペインと呼ばれます。

すべてのタスクは、[ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] から実行できます。

トピック：

- タスクサマリ
- 機能管理タスク
- Dell モジュラーとモノリシックシステムのタスク（帯域内）
- Dell モジュラーとモノリシックシステムタスク（帯域外）
- Dell Remote Access Controller（DRAC）タスク
- Dell シャーシタスク
- Dell Connections License Manager URL の設定

タスクサマリ

Dell サーバー（帯域内）を使用した Dell タスクの実行

次の表に、Dell サーバー（帯域内）を使用して実行できる Dell タスクの概要を示します。

表 17. Dell サーバー（帯域内）を使用した Dell タスクの実行

タスク	説明
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。 ① メモ: OpenManage PServer Administrator の起動は、管理下ノードに Dell OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	管理サーバー上で Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。
帯域内 Dell Remote Access Console の起動	帯域内で検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動	64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理システム上で Dell License Manager を起動します。
ESM ログのクリア	選択したシステムの Embedded System Management（ESM）ログの内容をバックアップし、ESM ログファイルをクリアします。
Remote Desktop の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。
電源ステータスのチェック	システムの全体的な電源ステータスを確認します。

表 17. Dell サーバー（帯域内）を使用した Dell タスクの実行（続き）

タスク	説明
強制電源オフ	オペレーティングシステムをシャットダウンせずに、システムの電源をオフにします。
パワーサイクル	電源をオフにして、しばらくしてから電源を再投入します。
正常電源オフ	最初にオペレーティングシステムをシャットダウンしてから、システムの電源をオフにします。
電源オン	システムの電源をオンにします。このオプションは、システムがオフ場合にのみ使用可能です。
電源リセット	システム電源をオフにしてから、再度オンにします。
LED 識別表示オン	選択したシステムの識別 LED を 255 秒間オンにします。
LED 識別表示オフ	選択したシステムの識別 LED をオフにします。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 i メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
リモートデスクトップ（モノリシックサーバー）の起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 i メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。 i メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされ、Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 i メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。
Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動	DRAC/MC コンソールを起動します。

Dell サーバー（帯域外）を使用した Dell タスクの実行

次の表に、Dell サーバー（帯域外）を使用して実行できる Dell タスクの概要を示します。

表 18. Dell サーバー（帯域外）を使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell OpenManage Server Administrator モノリシックサーバーの起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。 i メモ: OpenManage PServer Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステム

表 18. Dell サーバー（帯域外）を使用した Dell タスク（続き）

タスク	説明
	と Dell OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。
Dell Remote Access コンソールの起動	帯域外で検出されたサーバーの iDRAC コンソールを起動します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。 ① メモ: Dell License Manager の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムがインストールされており、Dell License Manager もインストールされている場合にのみ可能です。
リモートデスクトップモノリシックサーバーの起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 ① メモ: リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Windows オペレーティングシステムがインストールされており、リモートデスクトップが手動で有効化されている場合にのみ可能です。
Dell OpenManage Power Center の起動	選択したシステムの Dell OpenManage Power Center コンソールを起動します。 ① メモ: OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされ、Dell OpenManage Power Center がインストールされている場合にのみ可能です。
保証情報の取得	選択したシステムの保証情報を取得します。 ① メモ: 保証情報を取得するには、アクティブなインターネット接続が必要です。

DRAC を使用した Dell タスクの実行

次の表に、DRAC を使用して実行できる Dell タスクの概要を示します。

表 19. DRAC を使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell Remote Access コンソールの起動	検出された DRAC の DRAC コンソールを起動します。
Dell License Manager の起動	管理システム上で Dell License Manager を起動します。
リモートデスクトップの起動	選択したシステムのリモートデスクトップを起動します。 ① メモ: この機能は、iDRAC 7 装備のシステムでのみ使用可能です。
Dell OpenManage Server Administrator の起動	Dell OpenManage Server Administrator を起動します。 ① メモ: この機能は、iDRAC 7 装備のシステムでのみ使用可能です。

Dell シャーシを使用した Dell タスクの実行

次の表に、Dell シャーシを使用して実行できる Dell タスクの概要を示します。

表 20. Dell シャーシを使用した Dell タスク

タスク	説明
Dell CMC Console の起動	CMC コンソールを起動します。
Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動	DRAC/MC コンソールを起動します。

機能管理タスク

以下の表は、[Feature Management Dashboard] で使用できるタスクをリストします。以下にリストされているタスクの一部は、特定の監視機能をインポートした後にのみ表示されます。

- メモ:** イベントログ内のエラーログにある、既存の管理パックの再インポートに関するエラーは無視してください。これらのエラーは、監視機能のインポート中に Feature Management Dashboard がインポート済みのすべての依存 MP を再インポートしたときに発生します。
- メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください (ダッシュボードで状況アップデートの変更を表示します)。

表 21. 機能管理タスク

タスク	説明
[サーバー (帯域外) 監視]	
[License Server の設定]	Dell Connections License Manager を設定します。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。 メモ: Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、サーバー (帯域外) 監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。
[Dell Connections License Manager の起動]	Dell Connections License Manager コンソールを起動します。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals の『Dell Connections License Manager User's Guide』(Dell Connections License Manager ユーザーズガイド) を参照してください。 メモ: Dell Connections License Manager の設定中、License Manager タスクは、LicenseWebUI URL の設定完了後にのみ有効になります。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。 メモ: [License Server の設定] と [Connections License Manager の起動] は、Feature Management Dashboard 上のすべての監視機能に共通のタスクです。
[サーバー (帯域外) 拡張可能機能のインポート]	サーバー (帯域外) 監視機能の拡張可能エディションを有効にします。
[サーバー (帯域外) 詳細機能のインポート]	サーバー (帯域外) 監視機能の詳細エディションを有効にします。
[サーバー (帯域外) 拡張可能機能への設定]	システムで詳細機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。

表 21. 機能管理タスク（続き）

タスク		説明
		以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	[サーバー（帯域外）詳細機能への設定]	システムで拡張可能機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	[サーバー（帯域外）監視の優先監視メソッドとしての設定]	セットアップ内の Dell サーバーが帯域内監視機能と帯域外監視機能の両機能によって監視されている場合、このタスクは帯域外監視機能を Dell サーバーの優先監視手段として有効にします。
	[サーバー（帯域外）機能の削除]	サーバー（帯域外）監視機能を削除します。
[サーバー（帯域内）監視]		
	[サーバー（帯域内）詳細機能のインポート]	サーバー（帯域内）監視機能の詳細エディションを有効にします。
	[サーバー（帯域内）拡張可能機能のインポート]	サーバー（帯域内）監視機能の拡張可能エディションを有効にします。
	[サーバー（帯域内）監視の優先監視メソッドとしての設定]	セットアップ内の Dell サーバーが帯域内監視機能と帯域外監視機能の両機能によって監視されている場合、このタスクは帯域内監視機能を Dell サーバーの優先監視手段として有効にします。
	[サーバー（帯域内）拡張可能機能への設定]	システムで詳細機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 詳細機能から拡張可能機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	[サーバー（帯域内）詳細機能への設定]	システムで拡張可能機能が実行されている場合、Feature Management Dashboard は 拡張可能機能から詳細機能に切り替わります。 以前のバージョンからのアップグレードを行うときには、このタスクを実行してこの監視機能の最新バージョンを使用してください。
	[情報アラートをオンに設定（サーバー帯域内）]	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用、情報アラートがオンになります。
	[情報アラートをオフに設定（サーバー帯域内）]	サーバー（帯域内）拡張可能監視の使用、情報アラートがオフになります。
	[サーバー（帯域内）機能の削除]	サーバー（帯域内）監視機能を削除します。
[DRAC 監視]		
	[DRAC 監視機能のインポート]	DRAC 監視機能を有効にします。
	[DRAC 監視機能のアップグレード]	DRAC 監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
	[DRAC 監視機能の削除]	DRAC 監視機能を削除します。
[シャーシ監視]		
	[シャーシ監視機能のインポート]	シャーシ監視機能を有効にします。

表 21. 機能管理タスク（続き）

タスク	説明
[シャーシ監視機能のアップグレード]	シャーシ監視機能の最新バージョンにアップグレードします。
[シャーシ監視機能の削除]	シャーシ監視機能を削除します。
[シャーシモジュラーサーバー関連]	
[シャーシモジュラーサーバー関連機能のインポート]	シャーシモジュラーサーバー関連機能を有効にします。
[シャーシモジュラーサーバー関連機能のアップグレード]	シャーシモジュラーサーバー関連機能の最新バージョンにアップグレードします。
[シャーシモジュラーサーバー関連機能の削除]	シャーシモジュラーサーバー関連監視機能を削除します。

Dell モジュラーとモノリシックシステムのタスク(帯域内)

ESM ログのクリア

このタスクについて

ハードウェアログとも呼ばれる Server Administrator Embedded Server Management (ESM) ログは、エラー修正コード (ECC)、システムのリセットと起動、およびプローブしきい値の変更など、ハードウェアによって生成されるすべてのシステムイベントのリストを維持します。ハードウェアエラーが表示されたときやシステムが正しく機能しないときなどに、このログを参照できます。

[ESM ログのクリア] タスクを行うには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] から目的の Dell システムを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [ESM ログのクリア] を選択します。
[タスクの実行] ウィンドウが表示されます。
- ① **メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクシオン] ペインと呼ばれます。
4. [実行] をクリックして、選択したデバイスの ESM ログをクリアします。

例

[ESM ログのクリア] タスクを実行すると、タスク実行画面には、開始しているタスクの結果のみが表示されます。例えば、ESM ログがクリアされていない場合でも、タスク実行画面には、成功したという結果が表示されることがあります。これは、[ESM ログのクリア] タスクの開始が成功したことを表しています。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

このタスクについて

Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [Server Administrator の起動] と選択します。
- ① **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

このタスクについて

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [リモートデスクトップの起動] を選択します。

 **メモ:** リモートデスクトップの起動は、管理下ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

帯域内 Dell Remote Access Console の起動

このタスクについて

帯域内 Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [帯域内 Dell Remote Access Console の起動] と選択します。

電源ステータスのチェック

このタスクについて

電源ステータスをチェックして、IPMI シェルを介した電源制御タスクを許可します。

 **メモ:** アドバンス電源制御を有効にするには、BMU (Baseboard Management Controller Management Utility) をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成についての詳細は、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

システムの電源ステータスをチェックするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] から目的の Dell システムを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [電源ステータスのチェック] と選択します。

パワーサイクル

このタスクについて

[パワーサイクル] タスクでは、Dell システムの電源をオフにした後、間隔をおいて電源オンにすることができます。

 **メモ:** [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

パワーサイクルを行うには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、[ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [パワーサイクル] と選択します。

強制電源オフ

このタスクについて

[強制電源オフ] タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンせずにシステム電源をオフにすることができます。

① メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

システムの電源を切るには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで [Dell Windows サーバータスク] > [強制電源オフ] と選択します。

正常電源オフ

このタスクについて

[正常電源オフ] タスクでは、オペレーティングシステムをシャットダウンしてシステムの電源をオフにすることができます。

① メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

システムの電源を正常に切るには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] のどちらかで目的の Dell システムを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [正常電源オフ] と選択します。

電源オン

このタスクについて

[電源オン] タスクでは、サーバーの電源をオンにすることができます。このオプションは、システムの電源がオフになっている場合でも使用可能です。

① メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

システムの電源をオンにするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] から目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。

3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [電源オン] と選択します。

電源リセット

このタスクについて

[電源リセット] タスクでは、システムの電源をオフにしてから電源をオンにすることができます。

メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

システムの電源をリセットするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] から目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [電源リセット] と選択します。

LED 識別表示オン

このタスクについて

[LED 識別表示オン] タスクでは、選択したシステム上の LED 識別表示をオンにすることができます。

メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

LED 識別表示をオンにするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] から目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [LED 識別表示をオンにする] と選択します。

LED 識別表示オフ

このタスクについて

[LED 識別表示オフ] タスクでは、選択したシステム上の LED 識別表示をオフにすることができます。

メモ: [アドバンス電源制御] を有効にするには、BMU をデフォルトのパスにインストールします。BMU がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、新規コンソールタスクを作成してください。新規コンソールタスクの作成の詳細については、「[アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)」を参照して下さい。

LED 識別表示をオフにするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [LED 識別表示をオフにする] と選択します。

保証情報の取得

このタスクについて

[保証情報の取得] タスクでは、選択したシステムの保証ステータスを表示することができます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [保証情報の取得] と選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクについて

 **メモ:** OpenManage Power Center の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

[Dell OpenManage Power Center の起動] タスクでは、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell サーバータスク] > [Dell OpenManage Power Center の起動] と選択します。

32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

このタスクについて

[32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動] タスクでは、32 ビットオペレーティングシステムを実行している管理サーバー上で Dell License Manager を起動することができます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [32 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動] と選択します。

64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動

このタスクについて

[64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動] タスクでは、64 ビットオペレーティングシステムを実行している管理サーバー上で Dell License Manager を起動することができます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンス用の 1 対多ライセンス展開および報告ツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [64 ビット管理サーバーでの Dell License Manager の起動] と選択します。

Dell モジュールとモノリシックシステムタスク（帯域外）

保証情報の取得

このタスクについて

このタスクを使用して、選択したシステムの保証ステータスを確認できます。

保証情報を取得するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell サーバータスク] > [保証情報の取得] と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動

このタスクについて

 **メモ:** OpenManage Server Administrator の起動は、管理下ノードに Windows または Linux オペレーティングシステムと OpenManage Server Administrator がインストールされている場合にのみ可能です。

モノリシックサーバーの OpsMgr コンソールから Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell サーバータスク] > [Dell OpenManage Server Administrator（モノリシックサーバー）の起動] と選択します。

 **メモ:** Dell Server Management Pack Suite タスクが Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop（モノリシックサーバー）の起動

このタスクについて

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理下ノードで Windows オペレーティングシステムがインストールされており、Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

OpsMgr コンソールから Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell サーバータスク] > [Remote Desktop (モノリシックサーバー) の起動] を選択します。

Dell OpenManage Power Center の起動

このタスクについて

このタスクを使用して、OpenManage Power Center コンソールを起動できます。

Dell OpenManage Power Center を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [Dell OpenManage Power Center の起動] と選択します。

Dell Remote Access Console の起動

このタスクについて

Dell Remote Access Console を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell サーバータスク] > [Dell Remote Access Console の起動] と選択します。

Dell License Manager の起動

このタスクについて

[Dell License Manager の起動] タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、[License Manager 起動タスクの作成](#)を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Windows サーバータスク] > [Dell License Manager の起動] と選択します。

Dell Remote Access Controller (DRAC) タスク

Dell Remote Access Console の起動

このタスクについて

ご利用の Dell システムに DRAC が搭載されている場合は、このタスクを使用して Dell Remote Access Console を起動できます。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の DRAC/iDRAC デバイスを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2* を実行しているシステムの場合：
[アクション] ペインで、[SNMP ネットワークデバイスタスク] > [Dell RemoteAccess Console の起動] と選択します。
OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：
[タスク] ペインで、[Dell Remote Access Controller タスク] > [Dell DRAC Console の起動] と選択します。

Dell License Manager の起動

このタスクについて

[Dell License Manager の起動] タスクで、管理システム上で Dell License Manager を起動できます。Dell License Manager は、Dell iDRAC ライセンスの 1 対多のライセンス展開およびレポートを行うツールです。

 **メモ:** Dell License Manager がデフォルトのパスにインストールされていない場合は、Dell License Manager を起動するための新しいタスクを作成します。詳細に関しては、「[License Manager 起動タスクの作成](#)」を参照してください。

Dell License Manager を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Remote Access Controller タスク] > [Dell License Manager の起動] と選択します。

Dell OpenManage Server Administrator の起動

このタスクについて

 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator 機能は、iDRAC 7 搭載のシステムでのみ使用できます。

Dell OpenManage Server Administrator を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. [タスク] ペインで、[Dell Remote Access Controller タスク] > [Dell OpenManage Server Administrator の起動] と選択します。
4. *System Center Operations Manager 2007 R2* を実行しているシステムの場合：
[アクション] ペインで、[SNMP ネットワークデバイスタスク] > [Dell OpenManage Server Administrator の起動] と選択します。

OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

[タスク] ペインで、[Dell Remote Access Controller タスク] > [Dell OpenManage Server Administrator の起動] と選択します。

 **メモ:** Server Management Pack Suite タスクが、Internet Explorer でリモートコンソールを起動します。

Remote Desktop の起動

このタスクについて

 **メモ:** Remote Desktop 機能は、iDRAC 7 を持つシステムでのみ使用可能です。

 **メモ:** Remote Desktop の起動は、管理ノードで Remote Desktop が手動で有効化されている場合にのみ可能です。

Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで目的の Dell サーバーを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2 を実行しているシステムの場合：*
[アクション] ペインで、[SNMP ネットワークデバイスタスク] > [Dell OpenManage Server Administrator の起動] と選択します。

OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：

[タスク] ペインで、[Dell Remote Access Controller タスク] > [Dell OpenManage Server Administrator の起動] と選択します。

Dell シャーシタスク

Dell CMC Console の起動

このタスクについて

このタスクを実行して、CMC Console を起動できます。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー] [状態ビュー] のどちらかで CMC デバイスを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2 を実行しているシステムの場合：*
[アクション] ペインで、[SNMP ネットワークデバイスタスク] > [Dell CMC Console の起動] と選択します。
OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：
[タスク] ペインで、[Dell CMC タスク] > [Dell CMC Console の起動] と選択します。

Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動

このタスクについて

このタスクを使用して、DRAC/MC コンソール を起動できます。

手順

1. OpsMgr コンソールで、Dell [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー]、または [アラートビュー] に移動します。
2. [ダイアグラムビュー]、[状態ビュー] のどちらかで DRAC/MC デバイスを選択するか、[アラートビュー] のアラートを選択します。
3. *System Center Operations Manager 2007 R2 を実行しているシステムの場合*：
[アクション] ペインで、[SNMP ネットワークデバイスタスク] > [Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動] と選択します。
OpsMgr 2012 を実行しているシステムの場合：
[タスク] ペインで、[Dell DRAC/MC タスク] > [Dell Modular Chassis Remote Access Console の起動] と選択します。

Dell Connections License Manager URL の設定

このタスクについて

Dell サーバーは、Dell Connections License Server が設定された後にのみ検出されるため、サーバー（帯域外）監視機能をインポートする前にこのタスクを実行してください。

- ① **メモ:** サーバー（帯域外）監視機能がすでにインポートされている場合、Dell サーバーは次の検出サイクルでのみ検出され、Dell Connections License Manager URL の設定を促すアラートが機能管理ダッシュボード内に生成されます。詳細に関しては、「[機能管理アラート](#)」を参照してください。
- ① **メモ:** 管理サーバーが再起動された場合、検出された Dell サーバーは、次の検出サイクルの後にのみ表示されます。

手順

1. Dell Connections License Manager をインストールします。詳細に関しては、support.dell.com/manuals の『Dell Connections License Manager Version 1.0 Installation Guide』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 インストールガイド）を参照してください。
 2. 監視機能のためのライセンスを入手します。詳細に関しては、supdell.com/support/manuals にある『Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）の「Connections License Manager の管理」の項を参照してください。
 3. OpsMgr 2012 コンソールを起動します。
 4. ナビゲーションペインで、[監視] をクリックします。
 5. [監視] > [Dell] > [Feature Management Dashboard] と展開します。
 6. [サーバー（帯域外）監視] 機能を選択します。
 7. [Dell 監視機能のタスク] ペインで、[License Server の設定] を選択します。
[タスクの実行 - License Server の設定] 画面が表示されます。
 8. [上書き] をクリックします。
[上書きタスクのパラメータ] 画面が表示されます。
 9. [新しい値] 列にある [LicenseWebServiceURL] パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブサービス URL（ライセンスウェブサービス URL はデフォルトポートを 8543 として使用）を入力します。
例えば、http://10.56.123.255:8543/ となります。
 10. [新しい値] 列にある [LicenseWebUIURL] パラメータに、**http://<License Server IP>:<ポート番号>/** の形式で、ライセンスウェブ UI URL（ライセンスウェブ UI URL はデフォルトポートを 8543 として使用）を入力します。
例えば、http://10.56.123.255:8544/ となります。
 11. [上書き] をクリックします。
[タスクの実行 - License Server の設定] 画面が表示されます。
 12. [実行] をクリックします。
[タスクステータス - License Server の設定] 画面が表示されます。[License Server の設定] タスクは完了までに数分かかります。
- ① **メモ:** Feature Management Dashboard を使用して別のタスクを開始する前に、タスクが完了するのを待ってください（ダッシュボードで状態アップデートの変更を表示します）。

レポート

レポート機能では、Dell OpenManage Windows イベントログ、Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定のレポートを作成できます。

メモ: Dell サーバー BIOS、ファームウェア、および RAID 設定レポートは、Server (In-band) Management Pack の詳細エディションでのみ使用可能です。

トピック :

- レポートへのアクセス
- OpenManage Windows イベントログレポートの生成
- Operations Manager での BIOS 設定レポートの生成
- ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成
- RAID 設定レポートの生成

レポートへのアクセス

このタスクについて

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで [レポート] をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、[レポート] > [アプリケーション監視] と展開します。
3. Windows イベントログの場合は [Dell Windows Server (拡張可能エディション)] をクリックし、BIOS、ファームウェア、およびドライババージョン、RAID のレポートの場合は [Dell Windows Server (詳細エディション)] をクリックします。

次の手順

また、サーバーインスタンスをクリックしてダイアグラムビューからレポートにアクセスすることもできます。[Dell レポート] のオプションは、[タスク] ペイン内の Dell システムインスタンスレポートの下に、デフォルト Microsoft レポートとともに用意されています。

メモ: System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクション] ペインと呼ばれます。

OpenManage Windows イベントログレポートの生成

このタスクについて

OpenManage Windows イベントログのレポートを生成するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、[レポート] をクリックします。
 2. ナビゲーションペインで、[レポート] > [アプリケーション監視] と展開します。
 3. [Dell Windows Server (拡張可能エディション)] をクリックします。
 4. [OpenManage Windows イベントログ] をクリックして、[タスク] ペインの [開く] をクリックします。
- メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクション] ペインと呼ばれます。
5. 生成するレポートの対象期間を選択します。

6. [オブジェクトの追加] をクリックします。
7. Dell Server (Dell サーバー) を検索して、[追加] をクリックします。
[選択されたオブジェクト] ペインにオブジェクトが表示されます。
8. 生成するレポートの対象となるイベントの [重要度] を選択します。
9. [実行] をクリックします。
[OpenManage Windows イベントログ] レポートが生成されます。

Operations Manager での BIOS 設定レポートの生成

このタスクについて

BIOS 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. Operations Manager コンソールで、[レポート] をクリックします。
2. [Dell Windows Server (詳細エディション)] をクリックします。
3. [BIOS 設定] をクリックして、[タスク] ペインの [開く] をクリックします。
4. 生成するレポートの対象期間を選択します。
5. [オブジェクトの追加] をクリックします。
6. Dell Windows Server クラスのオブジェクトを検索し、[追加] をクリックします。
[選択されたオブジェクト] ペインにオブジェクトが表示されます。
7. 必要とする [プロパティ] を選択します。
8. [実行] をクリックします。
[BIOS 設定] レポートが生成されます。

ファームウェアおよびドライババージョンレポートの生成

このタスクについて

ファームウェアおよびドライババージョンのレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、[レポート] をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、[レポート] > [アプリケーション監視] と展開します。
3. [Dell Windows Server (詳細エディション)] をクリックします。
4. [ファームウェアとドライババージョン] をクリックし、[タスク] ペインで [開く] をクリックします。
 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクション] ペインと呼ばれます。
5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. [オブジェクトの追加] をクリックします。
7. Dell Server (Dell サーバー) を検索して、[追加] をクリックします。
[選択されたオブジェクト] ペインにオブジェクトが表示されます。
8. [実行] をクリックします。
[ファームウェアとドライババージョン] のレポートが生成されます。

RAID 設定レポートの生成

このタスクについて

RAID 設定のレポートを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソールで、[レポート] をクリックします。
2. ナビゲーションペインで、[レポート] > [アプリケーション監視] と展開します。
3. [Dell Windows Server (詳細エディション)] をクリックします。
4. [RAID 設定] をクリックして、[タスク] ペインの [開く] をクリックします。

 **メモ:** System Center Operations Manager 2007 R2 または System Center Essentials 2010 では、[タスク] ペインは [アクション] ペインと呼ばれます。

5. 生成するレポートの対象期間を選択します。
6. [オブジェクトの追加] をクリックします。
7. Dell サーバーを検索して、[追加] をクリックします。
[選択されたオブジェクト] ペインにオブジェクトが表示されます。
8. 必要とする [プロパティ] を選択します。
9. [実行] をクリックします。
[RAID 設定] レポートが生成されます。

関連文書およびリソース

本章では、Dell Server Management Pack Suite の操作に役立つ文書および参考資料に関する詳細を説明します。

トピック：

- Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン
- その他の必要マニュアル
- デルサポートサイトからの文書へのアクセス
- デルへのお問い合わせ

Operations Manager のパフォーマンスと拡張性のためのマイクロソフトガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Server Management Pack Suite を展開します。

拡張性に関するマイクロソフトの推奨については、マイクロソフトのウェブサイト technet.microsoft.com を参照してください。

 **メモ:** パフォーマンス向上のため、Operations Manager データウェアハウス、および / またはデータベースで [Autogrow] オプションが有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本『ユーザーズガイド』以外にも、dell.com/support/manuals から入手可能な次のガイドを参照する必要がある場合もあります。

- Dell Integrated Remote Access Controller User's Guide (Dell Integrated Remote Access Controller ユーザーズガイド)
- Dell Chassis Management Controller User's Guide (Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド)
- Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド
- Dell OpenManage Server Administrator インストールガイド
- Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド
- Dell OpenManage Server Administrator CIM Reference Guide (Dell OpenManage Server Administrator CIM リファレンスガイド)
- Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド
- Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド
- Dell OpenManage Baseboard Management Controller Utilities User's Guide (Dell OpenManage ベースボード管理コントローラユーティリティユーザーズガイド)
- Dell Remote Access Controller 5 User's Guide (Dell Remote Access Controller 5 ユーザーズガイド)
- Dell Remote Access Controller Racadm User's Guide (Dell Remote Access Controller Racadm ユーザーズガイド)
- Dell Life Cycle Controller User's Guide (Dell Life Cycle Controller ユーザーズガイド)
- Dell Remote Access Controller/ Modular Chassis User's Guide (Dell Remote Access Controller/Modular Chassis ユーザーズガイド)
- Dell Chassis Management Controller Version 1.0 for Dell PowerEdge VRTX(Chassis Management Controller for Dell PowerEdge VRTX バージョン 1.0)
- 『用語集』では、本書で使用されている用語が説明されています。

『Dell Systems Management Tools and Documentation』(Dell System Management ツールとマニュアル)DVD には、Server Administrator の readme ファイルおよびこの DVD に含まれるその他のシステム管理ソフトウェアアプリケーションの readme ファイルが収録されています。

デルサポートサイトからの文書へのアクセス

デルサポートサイトから文書にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. dell.com/support/manuals にアクセスします。

2. [サービスタグまたはエクスプレスサービスコードをお持ちですか?] セクションの [いいえ] で [すべてのデル製品のリストから選択する] を選択し、[続行] をクリックします。
3. [お使いの製品タイプを選択してください] セクションで、[ソフトウェアとセキュリティ] をクリックします。
4. [お使いのデル製システムを選択してください - Software] セクションで、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - クライアントシステム管理
 - エンタープライズシステム管理
 - リモートエンタープライズシステム管理
 - Serviceability Tools
5. マニュアルを表示するには、必要な製品バージョンをクリックします。

メモ: または、次のリンクを使用してマニュアルに直接アクセスすることもできます。

- エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/openmanagemanuals
- リモートエンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/esmmanuals
- Serviceability Tools マニュアル — dell.com/serviceabilitytools
- クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsClient
- OpenManage Connections エンタープライズシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemsManagement
- OpenManage Connections クライアントシステム管理マニュアル — dell.com/OMConnectionsClient

デルへのお問い合わせ

メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国 / 地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

付録 A - 問題とその解決

トピック：

- 問題と解決策
- 既知の制限
- 機能管理アラート

問題と解決策

次の表では、既知の問題、解決法、および問題の対象をリストしています。

表 22. 問題と解決策（続き）

問題	解決方法	対象
管理下ノードが Windows Server 2008 R2 を実行している場合や、管理サーバが [Operations Manager] 2012 R2 を実行している場合は、iSM-WMI を使用した検出に失敗します。	Windows Management Framework バージョン 4.0 がインストールされていることを確認します。 管理サーバで、System Center 2012 R2 Operations Manager 用アップデートロールアップ 7 (またはそれ以降) の Microsoft セキュリティのアップデートを適用します。詳細については、Support.microsoft.com を参照してください。 Catalog.update.microsoft.com から次の更新プログラムをインストールできます。これらの更新プログラムは、必ず次のリストの順序でインストールしてください。 - Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager サーバー用アップデート ロールアップ - Microsoft System Center 2012 R2 - Operations Manager コンソール用アップデート ロールアップ Windows Server 2008 R2 オペレーティングシステムを実行しているサーバーを検出します。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能 これは WMI を使用した iSM からの検出にのみ関連する問題です。
[優先監視方法として設定] タスクで、次のシナリオのいずれかまたは両方の重複するオブジェクトの削除に失敗する。 - Dell EMC モジュラーサーバとシャーシスロットの相関 - Dell EMC FM サーバの監視	重複するオブジェクトを削除するには、次の手順を実行します。 [Dell EMC Feature Management Dashboard] に移動し、[Dell EMC シャーシのモジュラーサーバ相関機能] を選択し、右側のペインの [Dell 監視機能タスク] メニューから [シャーシモジュラーサーバ相関機能の削除] をクリックします。[Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関] を再インポートします。[優先監視方法として設定] タスク機能を使用して、重複オブジェクトを削除することはできません。	Dell EMC シャーシモジュラーサーバ相関機能

表 22. 問題と解決策（続き）

問題	解決方法	対象
	2. それでもタスクが失敗する場合は、次の手順を実行します。 [Dell EMC シャーシからモジュラーブレードサーバへの相関検出] のオブジェクト検出を無効にします。 - モジュラーサーバの検出に使用する方法に対応するオブジェクト検出を無効にします。たとえば、重複オブジェクトが OMSA によって検出された場合は、[[オーサリング]] > [[オブジェクト検出]] に移動して、Windows Computer をターゲットとした Dell Server Discovery を検索し、そのオブジェクトの [Discovery] 属性を無効にします。 メモ: Dell EMC サーバ用に重複するオブジェクトが作成された場合は、FM サーバの次のオブジェクト検出を無効にします。 - Dell EMC FM Server Agent-based Discovery - Dell EMC FM Server Agent-free Discovery - Dell EMC FM Server iSM Discovery 3. [Operations Manager シェル] から次のコマンドを実行します。 <pre>Remove-SCOMDisabledClassInstance</pre> メモ: この手順の完了までに、最大 48 時間かかる場合があります。	
[エージェントプロキシが有効ではありません] アラートが、iSM から検出される Dell EMC PowerEdge サーバの [アクティブなアラート] リストに表示されます。	この問題を解決するには、次の手順を実行します。 - Dell EMC Feature Management Dashboard に移動して、Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）をクリックします。 - 右のペインで、[Dell 監視機能タスク] の [エージェントプロキシの有効化] をクリックします。 [タスクの実行 - エージェントプロキシの有効化] ウィンドウが表示されます。 [上書き] をクリックして、[警告 / エラーの自動解決] パラメータの [新しい値] の下のフィールドをクリックし、その値を [True] として設定します。 [上書き] をクリックして、[実行] をクリックします。 [タスクステータス] ウィンドウを閉じます。 アクティブなアラートリストから既存のアラートをクリアします。これらのアラート	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能

表 22. 問題と解決策（続き）

問題	解決方法	対象
	は、今後の検出のために表示されなくなります。	
Dell ネットワーク デバイス用の [Dell EMC ダイアグラム ビュー] で、Dell DRAC および Dell EMC シャーシ オブジェクトの基本属性が表示されません。	この問題を解決するため、[状態ビュー] でオブジェクトをクリックすることにより、詳細な属性一連を表示することができます。	Dell EMC シャーシ監視機能
サーバモジュールおよびシャーシスロットサマリ情報が CMC/OME-M に表示されない。	• CMC を管理する管理サーバーに OpenManage Server Administrator (OMSA) または DRAC ツールがインストールされていることを確認します。 • CMC デバイスに [Run As アカウント] が設定されており、「Dell CMC ログイン アカウント」と関連付けられていることを確認します。 • [Dell CMC スロット検出] およびルールが、Operations Manager コンソールの [オーサリング ペイン] から有効化されていることを確認します。	Dell EMC シャーシ監視機能
[プログラムの追加と削除] または [プログラムのアンインストールと変更] ウィンドウから Dell EMC Server Management Pack Suite の [修復] オプションを実行している間にエラーが発生する。	インストーラの [修復] オプションを使用してください。詳細については、『 <i>Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.2 インストール ガイド</i> 』の「インストーラーの修復オプションの使用」の項を参照してください。	Dell EMC Server Management Pack Suite
シャーシの検出中に応答の遅延が発生した場合は、デバイスからの最新情報がアップデートされない、スクリプトタイムアウトエラーが生成される、または一時フォルダ内のログファイルがクリアされません。	応答が遅延している CMC/OME-M デバイスの [上書きプロパティ] 画面で、[スクリプトタイムアウト] 値を増やします。[上書き] の詳細については、 Technet.microsoft.com の Operations Manager のマニュアルを参照してください。	Dell EMC シャーシ監視機能
Feature Management ホストサーバーの正常性サービスがダウンしています。	選択した管理サーバが機能を停止した場合、実行された機能管理タスクは失敗します。このような場合は、選択した管理サーバが破損している、または正常性サービスを取得できないといった状況下では、管理サーバを廃用にして古いオブジェクトを削除します。詳細については、Technet.microsoft.com/en-us/library/hh456439.aspx を参照してください。 残りの管理サーバから管理サーバを選択して、機能管理ホスト検出の FMPHostFQDN を上書きします。	Dell EMC Server Management Pack Suite
コンソールの [[監視]] > [[Dell EMC アラート ビュー]] > [[Dell EMC サーバー アラート]] に、[[Dell OM : サーバーおよびそのコンポーネントの正常性計算に失敗]] アラートが表示されません。	Dell サーバーを監視するために、Run As アカウントを手動で関連付けます。詳細については、『 <i>Dell EMC サーバーおよびラック型ワークステーション監視(ライセンス対象) 機能を使用した Dell EMC PowerEdge サーバー監視のための Run As アカウントの関連付け</i> 』をご覧ください。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能

表 22. 問題と解決策（続き）

問題	解決方法	対象
管理グループに複数の Operations Manager コンソールがある場合、1つの Operations Manager コンソールから起動したときに [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から作成された [デバイス認定資格プロフィール] と [ジョブ] は、管理グループ内の代替の Operations Manager コンソールから起動したときに [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から表示されません。	- 作成したものと同一 [デバイス認定資格プロフィール] を使用する場合は、最初に作成した Operations Manager コンソールから [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] を起動します。 - 新しいデバイス認定資格プロフィールは、デバイスの検出に使用できる別の Operations Manager コンソールから起動される [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から作成できます。 [スケジュール設定] されたジョブまたは [ジョブ履歴] を表示したい場合は、最初に作成された コンソールから [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] を起動します。 ① メモ: デバイス認定資格プロフィール名とジョブ名が一意であることを確認します。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能 Dell EMC シャーシ監視機能 Dell EMC ネットワーク スイッチ監視機能 この問題は、同じデバイス認定資格プロフィールの使用と、管理グループ内の複数の Operations Manager コンソールにまたがる [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] のジョブに関係しています。
Operations Manager 2012 R2 では、[Dell EMC OpenManage Integration Dashboard View] 管理パックのインポートに失敗します。	管理パックをインポートするには、次の手順を実行する必要があります。 - Operations Manager 2012 R2 用のアップデート ロールアップ 13 をインストールします。詳細については、https://support.microsoft.com/en-in/help/4016125/update-rollup-13-for-system-center-2012-r2-operations-manager を参照してください。また、リンクに記載されている手順に従ってください。 - アップデート後に、OMIMSSC 管理ポータルから [OMIMSSC Configuration Management Pack] の下にある管理パックをダウンロードしてインポートし、Operations Manager にインポートします。詳細については、『Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.2 インストール ガイド』の [Configuration Management Pack のダウンロード] を参照してください。 - Configuration Management Pack をインポートした後、OMIMSSC 管理ポータルから Operations Manager コンソールの登録を実行します。登録の詳細については、『Microsoft System Center for Operations Manager 向け Dell EMC OpenManage Integration バージョン 7.2 インストール ガイド』の [Operations Manager コンソールの登録] を参照してください。	Operations Manager 2012 R2
Dell EMC Server Management Pack Suite バージョン 7.0 から Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.1 から Dell EMC OMIMSSC バージョン 7.2 へのアップグレード後、ライセンスされた方法で検出されたサーバーおよびシャー	アップグレード後、詳細モードで検出されたサーバのパフォーマンスメトリックを Dell EMC OpenManage Integration Dashboard から表示するには、設定ページのメトリックオプションを有効にします。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視（ライセンス対象）機能 Dell EMC シャーシ監視機能

表 22. 問題と解決策

問題	解決方法	対象
シのパフォーマンス メトリックは表示されません。		
Dell EMC OMIMSSC アプライアンスを Operations Manager に登録する場合、または OMIMSSC アプライアンスの IP に何らかの変更がある場合、Operations Manager コンソールで [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] を起動できないことがあります。	ユニット監視でアプライアンス IP を更新するには、次の手順を実行します。 - Operations Manager コンソールにログインします。 - ペインの左下にある [オーサリング] をクリックします。 [オーサリング] > [管理バックオブジェクト] > [監視] の順に選択します。 [次を検索] フィールドで、[管理サーバ] の下にある [Dell EMC SDK Override Appliance IP] を検索します。 [[Dell EMC SDK Override Appliance IP]] を右クリックし、[[上書き]] > [[監視の上書き]] > [[クラスの全オブジェクト]] と選択します。 - パラメーター名で [Dell EMC Appliance IP] を選択します。[[上書き値]] を更新し、[[OK]] をクリックします。 ① メモ: 他の上書きパラメーターを選択していないことを確認します。	Dell EMC OMIMSSC
OMIMSSC アプライアンスから SCOM 管理グループを登録解除し、同じ OMIMSSC アプライアンス内に新しい SCOM 管理グループを登録する場合は、以前に使用したものと同一ジョブ名または認定資格プロフィール名を再使用してみます。デバイス認定資格プロフィールまたはジョブが存在するというエラーが表示されます。	以前に使用したものと同一ジョブ名と同一デバイス認定資格プロフィールを使用しないようにしてください。	Dell EMC OpenManage Integration Dashboard
Dell EMC Feature Management Dashboard タスクペインを使用して監視レベルが変更され、[Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から [MSSC との同期] が実行されると、監視レベルは連続する検出サイクルでは影響を受けませんが、すぐには影響を受けません。	監視レベルが変更され、次の検出サイクル後に反映されるまで待ちます。 または [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から検出モードを直接変更すると、デバイス検出ジョブはただちにスケジュール設定されます。	Dell EMC サーバおよびラック型ワークステーション監視 (ライセンス対象) 機能 Dell EMC シャーシ監視機能 Dell EMC ネットワーク スイッチ監視機能
SCOM コンソールで、[Dell EMC VRTX シャーシ ダイアグラム ビュー]の[Dell EMC VRTX シャーシ]におけるファングループの全体のステータスが、重要と表示されます。ただし、詳細ダイアグラム ビューには、正常なファンのみが表示され、正常ではないファンは表示されません。	CMC デバイスのインベントリーから CMC [製品 URL] を起動します。	Dell EMC シャーシ監視機能
OMIMSSC アプライアンスを再起動すると、検出された Dell デバイスが [Dell EMC OpenManage Integration Dashboard] から削除され、再検出されると、検出ジョブが失敗します。	仮想マシンのターミナル コンソールから、OMIMSSC アプライアンスを再起動します。	OMIMSSC アプライアンス

既知の制限

表 23. 既知の制限

制限	対象
[Dell MP、電源制御、および LED] タスクは、デフォルトの資格情報のみを使用します。オーサリングペインで新しいタスクを作成して表示すると、指定したユーザー名とパスワードを確認できます。資格情報は、タスク表示時に非表示にはなりません。	Dell Server Management Pack Suite
正常性エクスプローラーの使用、Server Management Pack Suite (センサーと OpenManage Services インスタンスの下) の一部のユニット監視は、サブインスタンスが存在しないにもかかわらず緑のステータスを表示する場合があります。これは、ターゲットクラスが存在し、ユニット監視が実行されているときに、ユニット監視が使用不可状態になることが不可能であるためです。	Dell Server Management Pack Suite
センサーのイントルージョンユニットモニタのステータスは、シャーシのみの状態を示すものであり、ベゼルイントルージョンの正常性は含まれていません。	Dell Server Management Pack Suite
Dell Server Management Pack Suite バージョン 4.1 の [Dell.OutofBand.DRAC.mp] の iDRAC クラスで行われた上書き (検出 / 監視 / ルール) は、いずれもバージョン 5.1 の iDRAC6 モノリシッククラスにのみ転送されます。iDRAC6 モジュールクラスでは上書きを手動で再作成してください。	Dell Server Management Pack Suite
OpsMgr 2012 R2 では、シャーシモジュールサーバー相関は、Dell サーバーとシャーシでは相関関係がなく、Dell サーバーが相当するシャーシスロットの下にリストされない場合があります。	シャーシモジュールサーバー相関機能

機能管理アラート

Dell Device Helper Utility または Dell Connections License Manager サーバーが正しくインストールされていない場合、またはライセンスサーバーが Dell サーバー (帯域外) 監視機能を通して Dell サーバーを監視するために十分なライセンスを持っていない場合、ダッシュボードの機能管理アラートに以下のアラートが生成されます。

表 24. 機能管理アラート

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
Dell FMP: Dell Device Helper Utility が存在しない、または Dell Dell Server (帯域外) Management Pack との互換性がありません。	重要	Dell Device Helper Utility バージョン 5.1 が見つからなかったか、Dell Device Helper Utility が破損しています。 Dell Device Helper Utility バージョン 5.1 より新しいバージョンが見つかりました。 Dell Device Helper Utility バージョン 5.1 より古いバージョンが見つかりました。	管理サーバー上で Dell Server Management Pack Suite バージョン 5.1 インストーラを実行してください。
Dell FMP: Dell License Server が適切に設定されていません。	重要	Dell Connections License Server が設定されていません。	Dell Connections License Server をインストールして URL を設定してください。詳細に関しては、 「Dell Connections License

表 24. 機能管理アラート（続き）

アラートテキスト	アラート状態	原因	解決策
			Manager URL の設定 を参照してください。
Dell FMP : Dell License Server が到達不能です。	重要	Dell Connections License Server に接続できません。	Dell Connections License Server URL が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、「 Dell Connections License Manager URL の設定 」を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。
Dell FMP : 機能に対する Dell ライセンスが十分でないか使用できません。	重要	Dell Connections License Server 上にライセンスがありません。 監視機能に対するライセンスの使用が監視制限を超えています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	警告	監視機能に対するライセンスの使用が、総監視能力の上限に近づいています。	追加のライセンスを購入して、Dell Connections License Server にインポートしてください。
	重要	監視機能のためのライセンスを処理できません。	Dell Connections License Server が正しく設定されていることを確認してください。詳細に関しては、 dell.com/support/manuals の『Dell Connections License Manager Version 1.0 User's Guide』（Dell Connections License Manager バージョン 1.0 ユーザーズガイド）を参照してください。 Dell Connections License Server にアクセス可能かどうかを確認してください。 Dell Connections License Server からライセンスを取得するためのアクセス権限を確認してください。

付録 B - 外部プログラムの有効化タスク

Dell Server Management Pack Suite によって提供される外部プログラムを起動するタスクは、デフォルトの場所にインストールされる必要があります。プログラムがデフォルトの場所にインストールされていない場合は、アプリケーションを起動するために新しいタスクを作成してください。

トピック：

- [アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成](#)
- [License Manager 起動タスクの作成](#)

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクの作成

このタスクについて

アドバンス電源制御と LED 識別表示タスクは、デフォルトの BMC 資格情報とインストールパス (C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc) を使用します。

お使いのシステムがデフォルトの BMC 資格情報とインストールパスを使用しない場合は、管理サーバー上に BMU 2.0 以降をインストールして、新しいコンソールタスクを作成します。

注意: 以下の手順では、タスクを作成して、プレーンテキストでパスワードを設定することが必要です。BMC が管理サーバーにインストールされていない場合、OpsMgr Console はダイアログボックス内にコマンド全体とエラーを表示する場合があります、パスワードを公開します。このタスクを含む作成済み上書き管理パックをディスクにエクスポートすると、エクスポートされた管理パックを一般的なテキストエディタ、または OpsMgr Authoring Console で開き、パスワードをプレーンテキストで表示できます。新しいタスクの作成は必要不可欠な場合にのみ行い、続行する前にセキュリティ面を検討してください。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

手順

1. OpsMgr コンソール を起動して、[オーサリング] をクリックします。
2. [オーサリング] ペインで [管理パックオブジェクト] 下にある [タスク] を右クリックし、[新規タスクの作成] を選択します。
3. [タスクタイプ] 画面で、[コンソールタスク] にある [コマンドライン] を選択します。
4. 宛先の管理パックを選択し、[次へ] をクリックします。
5. [タスク名]、[説明] を入力し、[タスクターゲット] に [Dell Windows サーバー] を選択して、[次へ] をクリックします。
[コマンドライン] 画面が表示されます。
6. [アプリケーション] フィールドに [ipmitool.exe] アプリケーションのパス (管理サーバー上で BMU がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmitool.exe になります。2つの LED 識別表示タスクの場合、アプリケーションパスは C:\Program Files\Dell\SysMgt\bmc\ipmish.exe です (デフォルトの BMU パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語により異なる場合があります)。
7. 電源制御タスクの場合、[パラメータ] フィールドに次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -I lan -H と入力し、ドロップダウンメニューから [IPMI 機能ありのリモートアクセス IP] を選択します。
 - -U <username> -P <password> -k <kgkey> <IPMI Task String> と入力します。
 - <IPMI Task String> を次のいずれかのオプションと置き換えます。
 - power status ([電源ステータスの確認] タスクの場合)
 - power on ([電源オン] タスクの場合)
 - power soft ([正常][電源オフ] タスクの場合)
 - power off ([強制電源オフ] タスクの場合)
 - power cycle ([パワーサイクル] タスクの場合)
 - power reset ([電源リセット] タスクの場合)

- identify on ([LED 識別表示オン] タスクの場合)
- identify off ([LED 識別表示オフ] タスクの場合)

例 :

```
-I lan -H $Target/Property[Type="Dell.WindowsServer.Server"]/RemoteAccessIP$ -U root -P
<password> -k <kgkey> power status
```

- LED のオン/オフのタスクについては、次の形式でコマンドラインパラメータを入力します。
 - -ip と入力し、ドロップダウンメニュー (ニューから) [IPMI 機能ありのリモートアクセス IP] を選択します。
 - -u <username> -p <password> -k <kgkey> <IPMI task string> と入力します。
- [作成] をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい BMC タスクごとに、この手順を繰り返します。

License Manager 起動タスクの作成

このタスクについて

License Manager 起動タスクは、変更不可のデフォルト Dell License Manager(DLM) インストールパス (%PROGRAMFILES(X86)% \Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe または %PROGRAMFILES% \Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe) を使用します。

お使いのシステムがこれらを使用していない場合、管理サーバーに DLM をインストールして、[Dell サーバー用 DLM] でターゲットされる [オーサリング] ペインで新しいコンソールタスクを作成します。

新しいタスクを作成するには、次の手順を実行します。

手順

- OpsMgr コンソールを起動して、[オーサリング] をクリックします。
- [オーサリング] ペインで [管理パックオブジェクト] 下にある [タスク] を右クリックし、[新規タスクの作成] を選択します。
- [タスクタイプ] 画面で、[コンソールタスク] にある [コマンドライン] を選択します。
- 宛先の管理パックを選択し、[次へ] をクリックします。
- [タスク名]、[説明] を入力し、[タスクターゲット] を以下のいずれかで設定します。
 - Dell Windows サーバー (Dell サーバー帯域内監視の場合)
 - Dell サーバー (Dell サーバー帯域外監視の場合)
 - Dell iDRAC7 (DRAC 監視の場合)
- [次へ] をクリックします。
[コマンドライン] 画面が表示されます。
- [アプリケーション] フィールドに *Dell.DlmUI.exe* アプリケーションのパス (管理サーバー上で DLM がインストールされている場所へのパス) を入力します。
例えば、C:\Program Files\Dell\SysMgt\LicenseManager\Dell.DlmUI.exe となります (デフォルトの DLM パスは、お使いのオペレーティングシステムの言語によって異なる場合があります)。
- [作成] をクリックしてタスクを作成します。作成する新しい DLM タスクごとに、この手順を繰り返します。